

少年審判通訳ハンドブック

【トルコ語】

最高裁判所事務総局

は　じ　め　に

少年審判において少年や保護者などが日本語を理解できない者である場合には、適正な調査や審判を実現するために、通訳が正しく行われることが必要です。しかし、調査や審判でのやり取りを正確に通訳することは、熟練した通訳人でも難しいものと思われます。まして、法律を学んだことのない方が初めて少年審判の通訳をする場合は、戸惑うことが多いと思います。そのような場合、あらかじめ、調査や審判などでよく使われる定型的表現や用語についての通訳例を承知しておくとともに、少年審判がどのような目的で、どのような手続に従って行われるのかということについて正しい予備知識を持っておくことは、適切な通訳を行うために大切なことであると思われます。

このハンドブックは、少年審判の通訳をすることになった方のために、通訳人として心得ておいていただきたいと思われること、知っていると役に立つと思われることをまとめ、通訳をする際の参考としていただくために作成したもので、少年審判の概要を説明した部分、通訳に当たっての注意事項を取りまとめた部分、調査や審判などでよく使われる定型的表現の対訳部分、さらに用語の対訳部分の4編からなっています。

このハンドブックが広く少年審判の通訳に当たる方の執務の参考になれば幸いです。

平成28年3月

最高裁判所事務総局家庭局

目 次

第1編 少年審判の概要

第1	少年審判の意義と基本原理	1
1	少年審判の意義	1
2	少年審判の基本原理	1
(1)	教育主義（保護主義）	1
(2)	個別処遇の原則（処遇の個別化）	2
(3)	職権主義	3
第2	少年審判手続の流れ	3
1	事件の受理	3
(1)	対象事件	3
ア	少年保護事件	3
(ア)	犯罪少年	3
(イ)	触法少年	3
(ウ)	ぐ犯少年	3
イ	強制的措置許可申請事件	4
ウ	準少年保護事件	4
(2)	事件受理の態様	4
2	観護措置	4
(1)	意義	4
(2)	手續	5
ア	通訳人の氏名などの確認及び宣誓	5
イ	家庭裁判所調査官による面接	5
ウ	裁判官による観護措置決定手続	5
(ア)	少年の氏名などの確認	5
(イ)	黙秘権及び付添人選任権の告知	6

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取	6
(エ) 決定の告知	6
(オ) ウィーン条約の説明	6
(3) 期間など	6
3 調査	7
(1) 裁判官による法的調査	7
(2) 家庭裁判所調査官による社会調査	7
4 審判	8
(1) 審判の開始	8
(2) 審判の場所、関与者など	8
(3) 手続	9
ア 審判開始の宣言	9
イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓	9
ウ 少年の氏名などの確認	9
エ 黙秘権の告知	9
オ 非行事実の審理	9
カ 要保護性の審理	10
キ 決定の告知	10
(ア) 保護処分	10
a 保護観察	10
b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致	10
c 少年院送致	11
(イ) 不処分	11
(ウ) 知事又は児童相談所長送致	11
(エ) 檢察官送致	11
(オ) 試験観察	12

(カ) 没取	12
(キ) 訴訟費用の負担	13
ク 保護処分の趣旨の説明	13
ケ 抗告権の告知	13
コ ウィーン条約の説明	13
5 檢察官及び弁護士である付添人が関与した審理	13
6 被害者等の傍聴	14
第2編 通訳に当たっての注意事項	15
第1 一般的注意事項	15
第2 具体的注意事項	17
1 観護措置決定手続段階	17
2 調査段階	17
3 審判段階	18
第3編 定型文言の対訳	20
第1 観護措置決定手続	20
1 家庭裁判所調査官による面接	20
2 前置き	20
3 少年の氏名などの確認	22
4 黙秘権の告知	22
5 付添人選任権の告知	22
6 非行事実の告知	22
7 少年の弁解の聴取	24
8 観護措置をとらない場合	24
9 観護措置をとる場合（決定の告知等）	24
10 少年鑑別所収容の通知の説明	24
11 ウィーン条約の説明	24

第2 調査手続	26
1 前置き	26
2 少年の氏名などの確認	26
3 手続の説明	26
4 審判の説明	28
5 処分の説明	28
第3 審判手続	30
1 審判開始の宣言	30
2 少年の氏名などの確認	30
3 黙秘権の告知	30
4 被害者等の傍聴がある場合の説明	32
5 非行事実の告知	32
6 少年の弁解の聽取	32
7 証人尋問手続	32
8 聽取の終了	34
9 調査官の意見陳述	34
10 付添人の意見陳述	34
11 決定などの告知及びその説明	34
12 抗告権の告知（保護処分に付された場合）	34
13 ウィーン条約の説明 (少年院送致や少年院への戻し収容の場合)	34
第4 非行事実の告知	36
1 窃盗罪（万引）の例	36
2 窃盗罪（バイク盗）の例	36
3 遺失物等横領罪の例	36
4 傷害罪の例	36

5	強盗罪の例	38
6	殺人罪の例（その1）	38
7	殺人罪の例（その2）	38
8	覚せい剤取締法違反の例	38
9	毒物及び劇物取締法違反の例	40
10	過失運転致傷罪の例	40
11	道路交通法違反（無免許運転）の例	40
12	道路交通法違反（速度違反）の例	40
13	売春防止法違反の例	40
14	出入国管理及び難民認定法違反の例	42
15	ぐ犯の例	42
第5	決定などの告知及びその説明	42
1	保護観察決定などの告知及びその説明	42
	(1) 保護観察決定の告知及びその説明	42
	(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明	44
2	児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知 及びその説明	44
3	少年院送致決定などの告知及びその説明	44
	(1) 少年院送致決定の告知及びその説明	44
	(2) 処遇勧告の告知及びその説明	44
	ア 短期間の処遇勧告の説明	44
	イ 特別短期間の処遇勧告の説明	44
4	不処分決定の告知	44
5	知事又は児童相談所長への送致決定の告知	46
6	検察官送致決定の告知	46
7	強制的措置許可決定の告知	46

8 強制的措置不許可決定の告知	46
9 試験観察決定などの告知及びその説明	46
10 没取決定の告知	46
11 訴訟費用負担決定の告知	46
12 戻し収容決定の告知	48
13 収容継続決定の告知	48
14 保護処分の取消決定の告知	48
15 施設送致決定の告知	48
第6 書式例	50
書式1 少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）	50
書式2 少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）	52
書式3 審判断日通知書	54
書式4 呼出状	56
書式5 呼出状（調査）	58
書式6 同行状（緊急）	60
書式7 観護措置通知書	62
書式8 付添人選任届	64
書式9 付添人選任に関する通知及び照会	66
書式10 付添人選任に関する回答書	68
書式11 決定通知書（審判不開始決定）	70
書式12 証人召喚状	72
書式13 証人等整理票	74
書式14 宣誓書	76
書式15 通報の要請に関する照会	78
第4編 用語の対訳	80
第1 法律関係用語	80

第2 調査関係用語	93
第3 官庁等諸機関名	96
第4 法令名	100
第5 罪名	105
少年保護事件の手続の流れ	109

第1編 少年審判の概要

第1 少年審判の意義と基本原理

1 少年審判の意義

一般に、少年は人格が未熟である半面、教育などにより改善される可能性が高いので、非行のある少年に対しては、責任を追及して刑罰による非難を加えるのではなく、非行の背景を探り、少年に保護、教育を行うことが、少年の健全な育成に役立つと考えられます。そこで、少年法（以下「法」といいます。）1条に掲げられている「少年の健全な育成」を図るため、非行のある少年の事件は、全て家庭裁判所に送らせ（これを「全件送致主義」といいます。），家庭裁判所で少年の個別的な問題性を調査した上、個々の少年に応じた教育的な措置を行うこととされています。家庭裁判所における少年事件の審理は、刑事訴訟手続のように公開の法廷で検察官と被告人及び弁護人双方の主張につき裁判官が第三者的立場から判断をするのではなく、非公開の審判庭で、裁判官が、職権により、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人などの関係者の意見を聴いた上、少年の後見的役割も果たしつつ、少年の将来を考えて処分を決める構造となっています。一定の場合には、検察官も審判に出席しますが、この場合の検察官も家庭裁判所の審判の協力者として出席します。このように、少年の健全な育成を図る目的の下に家庭裁判所が行う、少年事件の受理から最終的な決定に至るまでの一連の手続を、少年審判といいます。

2 少年審判の基本原理

(1) 教育主義（保護主義）

少年審判は、非行のある少年について、できるだけ処罰でなく、教育的な手段によって非行性を矯正し、更生を図ることを目的としており、刑罰は、このような教育的な手段によって矯正することができないか、それが不適当な場合に限って科せられることになっています。これは、少年は、精神的に未熟、不

安定で、環境の影響を受けやすく、非行に至った場合にも必ずしも犯罪性が進んでいない者が多いので、これを成人と同視して、その責任を追及することは適当でないという考え方と、少年は、たとえ罪を犯した場合にも人格の発達途上にあるものとして、成人に比べなお豊かな教育的可能性（可塑性）を有しており、指導や教育によって更生させることができると期待できるにもかかわらず、教育によらずに刑罰という制裁を科すことは、本人の将来のためにならないばかりでなく、社会にとっても決して得策ではないという考えに基づいています。

このような考え方を教育主義といいます。教育主義は、全ての少年事件を家庭裁判所に送らせ（全件送致主義），家庭裁判所において、必要な調査を行った上で少年の処分を決める仕組みになっていることにも表れています。

(2) 個別処遇の原理（処遇の個別化）

少年の非行の原因は様々であり、性格、環境などの問題点も多岐にわたりますから、これに対処して少年の非行性を取り除き、その更生を図るには、少年の個別的な問題性に応じた処遇を行うことが必要になります。このため、家庭裁判所においては、心理学、教育学、社会学などの行動科学の知見を活用した専門的な調査について訓練を受けている家庭裁判所調査官が、非行が起こったメカニズムを分析し、再非行を防ぐための手立てを検討するために、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などについて調べます（社会調査）。さらに、必要な少年に対しては、少年鑑別所において鑑別が行われることもあります。

また、個別的な処遇方法としては、保護処分として、保護観察、児童自立支援施設又は児童養護施設送致、少年院送致があり、保護観察と少年院送致については、運用上様々な処遇が用意されているほか、試験観察などの中間的な措置や家庭裁判所調査官による教育的な働き掛け（保護的措置）などがあります。刑事裁判の場合と異なり、少年の個別的な問題性に応じた処遇を選択することができるようになっています。

(3) 職権主義

刑事裁判では、被告人と検察官の対立する当事者がお互いに攻撃や防御を行い、裁判所が第三者的立場から判断を下すという当事者主義的な構造がとられていますが、少年審判では、これと異なり、家庭裁判所が、少年の健全な育成を図るため、自ら少年に関する広範な調査を行い、審問を行う職権主義的な構造がとられています。

少年審判に関与する者は、少年、保護者のほか、家庭裁判所調査官、付添人、検察官、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員、学校の教師など多数にわたりますが、いずれも少年の健全な育成という目的の下に協力的な立場で関与するものとされています。

第2 少年審判手続の流れ

1 事件の受理

(1) 対象事件

ア 少年保護事件

これは、家庭裁判所に送られてきた少年を保護処分に付すかどうかを判断する事件で、家庭裁判所が取り扱う少年に関する事件の中の主なものです。その対象となる少年は、次の3種類があります。

(ア) 犯罪少年

14歳以上20歳未満の罪を犯した少年（法3条1項1号）

(イ) 触法少年

刑罰の定めのある法令に触れる行為をしたが、行為の時14歳未満であったため、刑法上罪を犯したことにならない少年（法3条1項2号）

(ウ) ぐ犯少年

20歳未満で、保護者の正当な監督に服しないとか、正当な理由がないのに家庭に寄り付かないとか、あるいはいかがわしい場所に出入りするといった一定の行状があり、その性格や環境から見て将来罪を犯す又

は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年（法3条1項3号）

イ 強制的措置許可申請事件

これは、児童相談所等で取り扱っている児童について、適切な保護を行うため、児童の行動の自由を制限し、又はその自由を奪うような強制的な措置を必要とするときに、児童相談所等がそのような措置をとることの許可を求めて家庭裁判所にその児童を送致する事件です（法6条の7第2項）。

ウ 準少年保護事件

保護処分取消事件（法27条の2）、収容継続申請事件（少年院法138条、139条）、戻し収容申請事件（更生保護法71条、72条）及び施設送致申請事件（更生保護法67条2項、法26条の4）を準少年保護事件といい、これらの事件の手続は、性質に反しない限り少年保護事件のそれと同様です（法27条の2第6項、少年院法138条5項、139条3項、法26条の4第3項）。

(2) 事件受理の態様

家庭裁判所が少年保護事件を受理する方法としては、警察（司法警察員）からの送致（法41条）、検察官からの送致（法42条）のほか、知事又は児童相談所長からの送致（児童福祉法27条1項4号、法3条2項）。家庭裁判所調査官からの報告（法7条1項）、一般人からの通告（法6条1項）があります。また、強制的措置許可申請事件は、知事又は児童相談所長から送致されます（法6条の7第2項、児童福祉法27条の3）。

刑事事件における裁判所への事件の係属は、原則として検察官による公訴の提起に限られています（刑事訴訟法247条）が、少年事件の場合には、一般人を含めて、少年の健全な育成に关心を持つ者からの通告などによっても、事件を家庭裁判所に係属させる制度をとっているのが特徴です。

2 観護措置

(1) 意義

観護措置とは、家庭裁判所が調査や審判をするために、少年の心情の安定を図りながら、少年の身柄を確保しておく措置をいいます。これには、少年を家庭などに置いたまま、家庭裁判所調査官が隨時連絡を取って少年を観護するもの（法17条1項1号）と、少年を少年鑑別所に収容するもの（法17条1項2号）の2種類がありますが、前者はほとんど利用されておらず、通常、観護措置というときは後者を指します。

後者の観護措置では、少年を少年鑑別所に収容することによりその身柄を確保するとともに、少年の行動を観察しながら鑑別を行います。そして、鑑別の結果は家庭裁判所に報告され、調査や審判の資料とされます。以下では、後者の観護措置を前提として、説明します。

(2) 手続

ア 通訳人の氏名などの確認及び宣誓

家庭裁判所調査官による面接（後記イ）や裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前提として、まず、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、調査や審判などの通訳経験の有無などを聽かれ、良心に従つて誠実に通訳することを誓います。

イ 家庭裁判所調査官による面接

裁判官による観護措置決定手続（後記ウ）の前に、家庭裁判所調査官が短時間少年に面接し、観護措置の要否について家庭裁判所調査官の立場からの意見を裁判官に提出する場合があります。家庭裁判所調査官による面接では、少年の氏名や生年月日、国籍、非行事実などの確認が行われるほか、少年審判手続についての一般的な説明も行われます。

ウ 裁判官による観護措置決定手続

(ア) 少年の氏名などの確認

裁判官は、直接少年に会った上で、少年に対し、少年の氏名、生年月

日，職業，国籍，日本での住居などを聴いて，少年が人違いでないかどうかを確認します。

(イ) 黙秘権及び付添人選任権の告知

裁判官は，少年に対し，黙秘権及び付添人選任権を告げます。少年は裁判官の質問に対し，無理に答える必要はありません。また，少年事件において家庭裁判所の審判の協力者としての役割とともに，刑事事件の弁護人のような役割を果たす人を付添人といいますが，少年に付添人を選任できる権利（法10条）があることも分かりやすく説明します。

(ウ) 非行事実の告知及び少年の弁解の聴取

裁判官は，少年に対し，非行事実を告げて，少年の弁解を聴きます。

(エ) 決定の告知

裁判官は，少年に対し，観護措置をとる場合にはその旨の決定を告げ，観護措置をとらない場合にはその旨を告げます。

(オ) ウィーン条約の説明

裁判官が外国籍の少年について観護措置をとる旨の決定をした場合には，裁判官は，少年に対し，少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし，この通報は，それまでにその事件で通報されていない場合に限ります。

なお，二国間条約に基づき，少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては，ウィーン条約の説明は必要ありません。

(3) 期間など

少年を少年鑑別所に収容することができる期間は，原則として2週間ですが，特に継続の必要があるときは，更新することができます（法17条3項）。更新は原則として1回を超えて行うことはできませんが，例外的に，更に2回を

限度として行うことができます（法17条4項）。したがって、少年を少年鑑別所に収容しておくことのできる期間は、最長8週間ということになります。

通常は、少年鑑別所において行う少年の行動観察や鑑別のために相当の期間を要するため、4週間近く収容されることが多いのが実情です。また、観護措置は、その必要がなくなったときは、いつでも取り消すことができます（法17条8項）。

3 調査

(1) 裁判官による法的調査

家庭裁判所が事件を受理すると、裁判官は、まず捜査機関から送られてきた記録を検討して、少年に本当に非行があるのかどうかを調査します（法的調査）が、記録を検討した結果、少年に非行があるとの蓋然的心証を得た場合には、家庭裁判所調査官に対し、少年の要保護性についての調査（社会調査）を命じます。しかし、少年が捜査段階で非行事実を否認している場合や、証拠関係に不明な点があって、非行事実の認定に問題があると裁判官が考えた場合には、家庭裁判所調査官に調査を命じる前に、審判を開き、その点について直接少年の弁解を聴き、証人などを調べる場合もあります。

(2) 家庭裁判所調査官による社会調査

家庭裁判所調査官は、裁判官から調査を命じられると、行動科学等の専門的知識を活用して、非行の経緯、少年の性格、生育歴、少年を取り巻く環境などを調べ（社会調査），非行の背景やメカニズムを分析するという役割を担っています。社会調査は、少年が非行を繰り返す傾向の強さ、その傾向を取り除くことのできる可能性、そして保護処分という手段で矯正することのできる可能性といった要素（要保護性といいます。）を検討するために行われます。。社会調査は、家庭裁判所調査官が主に少年や保護者などと面接して行われ、少年鑑別所に収容されている少年に対しては、少年鑑別所に出向いて行われます。少年との面接の際には、家庭裁判所調査官が、少年の氏名、生年月日、国籍や

非行事実などを確認するほか、少年の生育歴、入国の経緯、日本での生活状況、非行の経緯や背景などを聴きますが、一般的な手続の説明なども行います。

また、家庭裁判所調査官が少年の家に出向いて家庭などの状況を見てくることや学校などに照会することもあります。調査に当たっては、少年の情操や名譽を傷つけないように、また、関係者の秘密が守られるように、十分な注意が払われています。

家庭裁判所調査官は、調査結果と少年が立ち直るために必要な処遇に関する意見を少年調査票という書面にまとめ、裁判官に報告します。

4 審判

(1) 審判の開始

裁判官は、家庭裁判所調査官の調査結果などを検討した上で、審判を開く必要があるかどうかを決めます。少年が事実を認めており、かつ、事案が軽微であり、調査の過程における家庭裁判所調査官からの教育的な働き掛けなどにより十分な手当てがされているなどの理由から、審判を開いて指導を行う必要がないと判断した場合には、審判不開始決定をして裁判官が少年に直接働き掛けを行うことなく手続を終了させます。少年が事実を否認している場合や保護処分（保護観察、少年院送致等）などの手当てをする必要があると判断した場合には、審判開始決定をして審判を開きます。

なお、少年が逮捕、勾留などにより身柄が拘束されたまま家庭裁判所に送致されて観護措置がとられたような場合には、調査命令を発する際に併せて審判開始決定をするのが一般です。

(2) 審判の場所、関与者など

審判は、原則として家庭裁判所の審判廷で行われ、非公開の場で、懇切を旨として、和やかに行うとともに、少年に対し、自己の非行について内省を促すものとされ（法22条1項），少年の情操の保護が図られています。

審判には、裁判官、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、少年及び少年の保護

者が出席し、場合によっては、付添人、検察官、学校の教師、雇い主、保護観察官、保護司、少年鑑別所の職員などが出席することもあります。また、一定の重大な事件では、被害者等が審判を傍聴することもあります。

なお、裁判官については、1人の場合と3人の場合があります。重大事件などについては3人の合議体で審判が行われ、そのうちの1人が裁判長として手続を進めます。以下では裁判官が1人の場合について記述しますが、3人の合議体で審判が行われた場合にも、基本的に同じです。

(3) 手続

ア 審判開始の宣言

審判を開始するに当たっては、まず、裁判官が審判の開始を宣言します。

イ 通訳人の氏名などの確認と宣誓

通訳人の氏名などの確認や宣誓が審判の前に行われていないときには、通訳人の氏名などの確認と宣誓が行われます。

通訳人は、裁判官から、氏名や住所、経歴、少年や保護者との身分関係などの有無、審判などの通訳経験の有無などを聽かれ、良心に従って誠実に通訳することを誓います。

ウ 少年の氏名などの確認

裁判官は、少年に対し、少年の氏名、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを聞いて、少年が人違いでないかどうかを確認します。

エ 黙秘権の告知

裁判官は、少年に対し、黙秘権を告げます。

オ 非行事実の審理

裁判官は、少年に対し、非行事実を告げて、少年の言い分を聞き、その上で捜査機関から送ってきた少年に不利な証拠の内容を告げて、これについて言い分を述べる機会を与えます。必要な場合には、証人尋問などの証拠調べも行われます。審判の進め方や証拠調べの範囲、方法などについては、裁

判官の裁量に委ねられていますが、この裁量も無制限ではなく、合理的なものでなければならぬとされています。また、保護処分の決定を行うには、非行事実の存在について、間違いがないとの確信（合理的な疑いを超える確信）が必要とされています。

カ 要保護性の審理

裁判官は、非行事実の審理の結果、非行事実の存在について確信した場合には、続いて、少年の要保護性についての審理を行います。裁判官は、主として家庭裁判所調査官の作成した少年調査票や少年鑑別所の鑑別結果報告書の内容を踏まえて、少年や保護者に対し、非行の動機・原因のほか、少年自身の生い立ち、少年の家族関係、学校、職場などの環境などについて、そのポイントとなる点を確かめ、あるいは自発的な発言を促してその言い分を十分に聴きます。また、その他の関係者から必要に応じて意見を述べてもらうこともあります。

キ 決定の告知

裁判官は、調査や審判の結果に基づいて、少年の非行事実及び要保護性を総合的に検討し、個々の少年の健全な育成のために最もふさわしい処分を決定し、少年にそれを告げます。

裁判官が審判で行う処分としては、次のようなものがあります。

(ア) 保護処分

a 保護観察

少年を家庭や職場に置いたまま、保護観察官や保護司が少年に対して指導監督と補導援護を行い、少年の改善更生を図るもの（法24条1項1号）。

b 児童自立支援施設又は児童養護施設送致

児童自立支援施設や児童養護施設という児童福祉施設に少年を送つて教育や養護を行うもの（法24条1項2号）。

c 少年院送致

少年を少年院という特別の矯正教育施設に収容して、少年が健全なものの考え方や規則正しい生活習慣を身に付けることができるよう指導するものです（法24条1項3号）。少年院には、第1種から第4種までの4種類がありますが、家庭裁判所が少年を送致するのはこのうち第1種から第3種までの少年院です。少年を送致する少年院の種類は、決定において定められます。また、家庭裁判所は、第1種少年院に少年を送致する場合には、短期間（6か月）又は特別短期間（4か月）で処遇を終えることが適当である旨の処遇勧告を付すことができ、その場合には、少年院長は家庭裁判所の処遇勧告をそのまま受け入れる運用が行われています。

(イ) 不処分

審判の結果、非行事実が認められない場合や、非行事実が認められても、特に保護処分に付すまでの必要はないと認められた場合に行われるもので、少年を保護処分に付さないことを宣言するものです（法23条2項）。

(ウ) 知事又は児童相談所長送致

少年を児童福祉施設に入所させたり、少年に児童福祉司や児童委員による指導を受けさせたりするなど、児童相談所の措置に委ねることが適當であると認められた場合に行われるものです（法23条1項、18条1項）。

(エ) 檢察官送致

死刑、懲役又は禁錮に当たる罪の事件について、調査をした上、その事件の重大性や犯情、さらには、少年の犯罪的危険性、非行歴などから判断して、刑罰を科すのが相当と認められるときに、事件を検察官に送致するものです。また、殺人や傷害致死など故意の犯罪行為によって被

害者を死亡させた罪の事件であって、犯行時に16歳以上の少年に係るものについては、原則として事件を検察官に送致することとされています（法23条1項、20条）。

送致を受けた検察官は、犯罪の嫌疑がある限り、原則として、刑事裁判所に公訴を提起（起訴）しなければならないとされています（法45条5号）。

なお、このほかに、本人が20歳以上であることが判明したときにも、事件を検察官に送致する決定が行われます（法23条3項、19条2項）。

観護措置がとられている事件について、検察官送致の決定をするときは、あらかじめ、本人に対し、罪となるべき事実や弁護人を選任することができる旨などが告げられます。さらに、死刑又は無期若しくは長期3年を超える懲役若しくは禁錮に当たる事件については、本人に対し、貧困その他の事由により自ら弁護人を選任することができないときは弁護人の選任を請求することができる旨などが告げられます（少年審判規則24条の2）。

(オ) 試験観察

試験観察とは、家庭裁判所が直ちに保護処分を選択するかどうかの最終決定を行いにくい場合に、（ア）から（エ）までのような最終的な決定を留保したまま、少年の非行性や更生可能性を見定めるために、相当の期間、少年を家庭裁判所調査官の観察に付すという中間的な決定です。その際には、併せて、遵守事項を定めてその履行を命じたり、適当な施設や個人などに少年の補導を委託したり（これを「補導委託」といいます。）するなどして、少年の行動を観察することもあります（法25条）。

(カ) 没取

没取とは、犯罪少年や触法少年について、審判不開始決定や（ア）から（ウ）までの決定等をするに当たり、犯罪に利用した凶器など一定の物の所有権を少年から剥奪し、国庫に帰属させるために行われる処分です（法24条の2）。

（キ）訴訟費用の負担

家庭裁判所へ送致される前に少年に国選弁護人が付された事件について、不処分又は保護処分の決定がされた場合には、家庭裁判所は、少年に対し、その国選弁護費用（訴訟費用）を負担させることができます（法45条の3、刑事訴訟法181条1項）。

ク 保護処分の趣旨の説明

裁判官は、保護処分の決定を告げる場合には、少年及び保護者に対し、保護処分の趣旨を懇切に説明し、これを十分に理解させます（少年審判規則35条1項）。

ケ 抗告権の告知

裁判官は、保護処分の決定を告げた場合には、少年及び保護者に対し、決定に不服があるときは2週間以内に抗告申立書を裁判所に差し出して抗告をすることができる旨を告げます（少年審判規則35条2項）。

コ ウィーン条約の説明

裁判官が少年院送致や少年院への戻し収容の決定を告げた場合には、裁判官は、少年に対し、少年の希望があれば領事関係に関するウィーン条約に基づいて少年の本国の駐日大使館などに通報する旨の説明などをします。ただし、この通報は、それまでにその事件で通報されていない場合に限ります。

なお、二国間条約に基づき、少年の希望の有無にかかわらず通報することとされている国の少年に対しては、ウィーン条約の説明は必要ありません。

5 檢察官及び弁護士である付添人が関与した審理

検察官は、原則として少年審判に関与しませんが、家庭裁判所は一定の罪の事

件で、その事実認定手続に検察官が関与する必要があると認めるときは、審判に検察官を出席させることができます（法22条の2）。この場合に、家庭裁判所は、少年に弁護士である付添人がないときは、弁護士である付添人を付すこととされています（法22条の3第1項）。

また、検察官が関与しない場合でも観護措置がとられている一定の罪の事件に係る犯罪少年や触法少年の審判において、事案の内容、保護者の有無その他の事情を考慮し、必要があると認めるときは、弁護士である付添人を付することができますとされています（法22条の3第2項）。

このようにして検察官や弁護士である付添人が出席した審判においては、検察官や付添人から証拠調べの申出がされたり、少年や証人などに対して質問がされたりします。ただし、刑事裁判と異なり、検察官や付添人は家庭裁判所の審判の協力者として関与します。

6 被害者等の傍聴

少年審判は原則として非公開ですが、犯罪少年又は触法少年が起こした一定の重大な事件の被害者等は、裁判所の許可を受けて少年審判を傍聴することができる場合があります。被害者等から傍聴の申出があった場合には、裁判所は、少年の年齢及び心身の状態、事件の性質、審判の状況その他の事情を考慮し、少年の健全な育成を妨げるおそれがなく相当と認めるときに限り、傍聴を許すことができます（法22条の4）。

第2編 通訳に当たっての注意事項

第1編で少年審判の概要をおおむね御理解いただけたことと思います。通訳人の皆さんには、この少年審判の中で、言葉の通じない外国人の少年や保護者などと少年審判に関与する他の人とのいわばパイプ役を果たしていただくことになります。少年審判においては、まず、少年に調査や審判などで何が行われているかを十分に理解させる必要があります。そして、裁判官や家庭裁判所調査官と少年などとの意思の疎通を十分に行いながら審理を進めていかなければなりません。そのためには正確な通訳が必要です。

本編では、通訳人の皆さんに心得ておいていただきたい注意事項をまとめてみました。

第1 一般的注意事項

1 良心に従って誠実に通訳を行ってください。

通訳人の皆さんには、通訳をするに当たってその旨の宣誓をしていただきます。これは、法律に基づくもので、適正な調査や審判などを実現するためのものです。

なお、故意に偽りの通訳を行いますと、処罰されることがあります。

2 公正を保ってください。

少年審判は、偏りのない、公正な手続で行われなければなりません。通訳人も、通訳をするに当たっては、立場上公正さを疑われるような行動をとってはならないので、少年や保護者などと交友関係があるなど特別の関係にある場合には、直ちに申し出てください。警察や検察庁での当該少年に対する取調べに通訳人として立ち会ったことがある場合には、必ず裁判所にその旨を伝えてください。また、少年や保護者などに対して名刺を渡したり、電話番号を教えたりするなど、少年やその関係者から接触してくる機会を与えないようにしてください。

もちろん、一緒に飲食したり、贈り物を受け取ったりするなどの行為は、絶対に行わないでください。

3 職務上知り得た秘密を漏らさないでください。

少年事件の調査や審判は、少年の社会復帰を助けるため、非公開で行われ、その内容は、外部には知らされません。特に、少年の非行の内容が外部に知ると、少年が就職する妨げになったり、学校を退学になったりすることがあり、その更生に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

通訳人の方は、調査や審判などの過程で、事件の内容に関する様々なことを知ります。特に、調査や審判においては、その性質上、少年の生育環境や心身の状況など、少年のプライバシーに関することを知ることも多くあります。これらの内容は絶対に他に漏らさないでください。少年審判は、秘密性を重視して行われるものですから、秘密の保護には特に注意してください。家庭裁判所調査官による調査に際しては、少年と保護者の間でも秘密にされている事項についての話もよくありますので、これらについては、外部だけではなく、少年や保護者に対しても、絶対に漏らさないでください。

4 少年から調査や審判以外の場で質問されたり、話しかけられたりした場合にも、少年との会話の内容については十分に注意してください。

少年は、慣れない土地で身体の自由の拘束を受けるなどしていますので、自分の話す言葉を理解してくれる通訳人に様々な相談をすることがあるかと思われます。しかし、通訳人の個人的な経験などから、審判の見通しや今後の手続などを話したりすると、これによって少年が誤った期待等を抱いてしまうおそれがあります。通訳人は、少年の助言者ではありません。少年の保護者、友人などから問合せや相談があった場合も同様です。

5 裁判所では、通訳人の皆さんに、正確な通訳をしていただくために、少年の非行事実を記載した書類をお渡しすることができますが、この書類は、審判が終了したらすぐに担当の裁判所書記官に返却してください。また、分からぬことが

あれば、担当の裁判所書記官にお尋ねください。

第2 具体的注意事項

1 観護措置決定手続段階

観護措置決定手続は、少年を少年鑑別所に収容するか否かを決める重要な手続ですから、裁判官や少年が話したことを忠実に通訳してください。観護措置決定手續段階における注意事項は、基本的に審判段階におけるものと同様ですから、後記3を参考にしてください。

2 調査段階

(1) 家庭裁判所調査官、少年及び保護者が話したことを忠実に通訳してください。

家庭裁判所調査官は、行動科学の専門的知識を背景に、少年との面接の中で、様々な角度から少年に質問、あるいは心理テストなどを行い、少年の要保護性を調査します。家庭裁判所調査官の質問に対する少年の返答内容や態度などは、全て少年の人格を理解するために重要な要素となり、また、家庭裁判所調査官は、少年の反応や性格などにより、質問方法を変化させていきます。したがって、家庭裁判所調査官の質問を正確に通訳し、少年や保護者の言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳したりすることは極力避けてください。また、少年や保護者が質問に対する答え以外にも話をしている場合や質問をしていないのに話を始めた場合にも、その発言を禁止せずに通訳してください。

(2) 通訳するときに、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたりしないでください。

通訳は、発言ができるだけ忠実に通訳することが原則です。通訳人が評価を交えるなどすると、発言の本当の内容が相手に伝わらず、誤解を生じることになります。もし家庭裁判所調査官が少年や保護者の発言の意味を理解できない場合には問い合わせしますので、通訳人がコメントを付け加えることは遠慮してください。

なお、少年を理解する上で必要と思われるもので、少年の母国の文化などについて、どうしても少年が説明しきれず、通訳人が裁判所に伝えておくことが望ましいと思われるものがある場合には、その旨を申し出た上、家庭裁判所調査官の指示に従ってください。

- (3) 家庭裁判所調査官の質問に分からぬ言葉があるなど疑問があった場合には、遠慮なく家庭裁判所調査官に尋ねてください。

通訳人を付けた事件の場合、家庭裁判所調査官はできるだけ簡潔に質問をするなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問やいくつもの質問が一度にされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を家庭裁判所調査官に申し出てください。また、専門用語などで意味の分からぬ言葉があった場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なく申し出てください。質問の意味をよく理解しないまま通訳を行ったのでは、調査の目的は達せられません。

- (4) 少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年などに追加説明しないでください。

質問する側としては、答える側がどれだけ質問を理解したかを把握することも大切です。少年や保護者が通訳された内容を理解していないと見える場合には、そのまま答えを通訳した上で、よく理解できていない旨を家庭裁判所調査官に告げてください。家庭裁判所調査官は、質問を変えるなどの工夫を行います。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま調査を進めますと、思わぬ誤解を生じるおそれがあります。

- (5) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、家庭裁判所調査官の方を向いたりして、合図をしてください。

3 審判段階

- (1) 裁判官、少年、証人その他の関係者が話したことを忠実に通訳してください。審判では、裁判官が同じ点について様々な角度から何度も尋ねることがあります。

ます。これに対し、少年が同じようなことを繰り返しているように見える場合もあります。このような場合でも、それぞれの質問のニュアンスなどに注意して、言葉をできる限り忠実に通訳してください。一部を省略したり、話した内容を簡単にまとめてその趣旨だけを通訳することは極力避けてください。また、通訳するときには、通訳人による評価を交えたり、コメントを付け加えたり、裁判官の指示によらないで少年らの発言を禁止したりしないでください。

- (2) 裁判官等の質問に意味の分からぬ言葉があるなど通訳がやりにくく感じたときは、遠慮なくその旨を裁判官に申し出てください。

通訳人を受けた事件の場合、裁判官等はできるだけ簡潔にわかりやすく質問するなどの工夫をするのが通例ですが、もし複雑な質問がされたりして通訳に困難を感じる場合は、直ちにその旨を裁判官に申し出てください。また、質問の途中で難しい言葉が出てきた場合や、質問内容を正確に理解できない場合は、中途半端に処理しないで遠慮なくその旨を申し出てください。質問の意味などをよく理解しないまま通訳を行ったのでは、審判の目的は達せられません。

- (3) 少年や証人が通訳された内容を理解していないと見える場合には、通訳人の判断で少年らに説明することなく、そのまま答えを通訳した上で、十分に理解できていない旨を裁判官に告げてください。裁判官は質問の仕方を変えたりして工夫します。質問する側と答える側に食い違いがあるのにそのまま手続を進めますと、思わぬ誤解を生じたりします。

- (4) 通訳を行っていただく際、発言を一通り訳し終わった場合には、「はい。」と声に出したり、裁判官の方を向いたりして、合図をしてください。

第3編 定型文言の対訳

[一般的には、ここに記載されたような方式で行われますが、必ずしもここに書かれているとおりの内容が述べられるとは限りませんし、ほかの内容が述べられることもあります。なお、本編では、裁判官が1人で、検察官が関与しない審理について記載していますが、裁判官が3人である場合や検察官が関与する場合についても、以下に記載した手続の流れは基本的に同じです。]

第1 観護措置決定手続

1 家庭裁判所調査官による面接を行う場合

[ここに記載されているほかは、第2の2以下の内容を参考にしてください。]

私は、家庭裁判所調査官の〇〇です。

最初に、私が、今回の非行や現在の生活状況などについて聴き、その後に裁判官の面接があります。

裁判官の面接では、もう一度、君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などが聽かれます。

裁判官の面接では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

事実と違う点や納得のできない点があれば、その機会に述べてください。

裁判官は、今回の非行の内容、君のこれまでの生活状況などを考慮して、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に収容する必要があるかどうかを判断します。

2 前置き

私は、裁判官の〇〇です。

君について〇〇事件が送られてきました。

今後、君に本当に非行があるかどうかを確かめた上で、最終的な処分を決めて

1. Koruyucu Gözaltı Tedbir Karar İşlemleri

1. Aile Mahkemesi Denetimli Serbestlik Görevlisi tarafından görüşme yapılması

(Burada yazılı olanların dışında 2. Bölüm 2. madde altında yazılı olan konuya bakınız.)

Ben, Aile Mahkemesi Denetimli Serbestlik Görevlisi ○○'yim.

Öncelikle, ben sana yapmış olduğun uygunsuz davranış ve içinde bulunduğu yaşam şartları vb. gibi konular hakkında sorular soracağım. Daha sonra yargıçla görüşmeniz yapılacak.

Yargıcıla görüşmen sırasında, tekrar adını, doğum tarihini, işini, uyruğunu ve Japonya'daki ikametgah adresini ve buna benzer konular hakkında sorular sorulacak.

Yargıcıla görüşmen sırasında, yapmış olduğun uygunsuz davranışın içeriği sana duyurularak, senin mazeretini açıklaman için söz hakkı verilecek.

Gerçekle farklı noktalar veya kabul etmediğin noktalar olursa, söz hakkı verildiğinde lütfen söyleyin.

Yargıcı, yapmış olduğun uygunsuz davranışın içeriğini, senin bu zamana kadarki yaşıntını ve benzer konular üzerine düşünerek, senin sorunlarının araştırılmasını sağlamak için, seni çocuk gözetim evinde alıkoymayanın gerekli olup olmadığına karar verecek.

2. Başlangıç

Ben yargıç ○○'yim.

Seninle ilgili ○○ olayı gönderildi.

Şu andan itibaren, senin gerçekten uygunsuz davranışın olup olmadığını kontrol ederek, son

いくこととなります。今日は、その前提として、君の問題点を調べてもらうために、君を少年鑑別所に送致する必要があるかどうかを決めます。

これから手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の言っている意味が分からぬときは、何でも遠慮なく聞いてください。

3 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

4 黙秘権の告知

これからいくつか質問しますが、君は無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

しかし、言いたいことがあれば、遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われことがあります。

5 付添人選任権の告知

君や君のお父さん、お母さんなどの保護者は、今回の審判のために、付添人を頼むことができます。

付添人とは、裁判所の審判に協力しながら、君の権利を守ったり、相談に乗ってくれたりする人です。

弁護士以外の人を付添人に頼む場合は、家庭裁判所の許可が必要です。

6 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。

よく聞いておいてください。

kararı vereceğim. Ancak, bugün buna ön koşul olarak, senin sorunlarının araştırılmasını sağlamak için, senin çocuk gözetim evine sevkinin gerekli olup olmadığına karar vereceğim.

Bu işlemler mahkeme tarafından seçilmiş bir tercüman tarafından tercüme edilecek. Tercüman, dürüstçe tercüme edeceğine yemin etmiştir.

Benim sorularımın anlamını anlamadığında, her ne olursa olsun lütfen çekinmeden sor.

3. Çocuğun adı-soyadı vs.'nin kontrolü

Adın nedir?

Doğum tarihin ne zamandır?

Uyruğun neresidir?

Japonya'da nerede yaşıyorsun?

Ne iş yapıyorsun?

4. Susma hakkının duyurulması

Şimdi, sana birkaç soru soracağım ancak senin mecburi olarak cevaplaman gereklidir.

Susmandan ötürü aleyhte bir muameleye maruz kalmayacaksın.

Ancak, söylemek istediği bir şey olursa lütfen çekinmeden söyleyin.

Fakat, senin konuşukların, senin için lehte veya aleyhte olduğuna bakılmaksızın, delil olarak kullanılabilir.

5. Refakatçi seçim hakkının duyurulması

Sen, senin baban veya annen gibi velilerin, bu yargılama için refakatçi talep edebilirler.

Refakatçi, mahkemenin yargılaması için yardımcı olmakla beraber, senin haklarını koruyacak ve sana danışmanlık yapacak olan kişidir.

Avukatın dışında başka bir kişiyi refakatçi olarak talep etmen durumunda, aile mahkemesinin onayı gereklidir.

6. Uygunuz davranışın duyurulması

Şimdi, savcı (polis) tarafından gönderilen olayın içeriğini okuyacağım.

Lütfen dikkatlice dinleyin.

[第4（非行事実の告知）参照]

7 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からぬことがあつたら、何でも遠慮なく言ってください。

8 観護措置をとらない場合

君を少年鑑別所に送致しないことにします。

今日は帰ってもらいます。

しかし、これで裁判所の手続が終わつたわけではありません。

後日、調査や審判の呼出しがありますから、そのときは必ず裁判所に来てください。

9 観護措置をとる場合（決定の告知等）

君を少年鑑別所に送致することにします。

少年鑑別所にいる期間は、通常、最長4週間です。なお、場合によっては、最長8週間まで更新されることがあります。

その間、少年鑑別所の技官や家庭裁判所調査官が君の性格、環境などに問題がないかどうか、あるとすれば何かといったことを知るため、心理テストや調査を行うことになります。この調査等にはできる限り応じてください。

また、自分自身や生活面の問題点は何か、それをどのように直していくかについて、審判で裁判官に説明できるように考えを整理しておいてください。

10 少年鑑別所収容の通知の説明

君が少年鑑別所に収容されることは、君のお父さん、お母さんなどの保護者に通知します。

誰への通知を希望しますか。

その人の名前と住所及び君とその人との関係を教えてください。

11 ウィーン条約の説明

〔二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。〕

(4. Uygunsuz davranışın duyurulması'na bakınız.)

7 Çocuğun mazeretinin dinlenmesi

Okuduğum konuya ilgili, yanlış olan veya anlamadığın bir konu varsa, her ne olursa olsun lütfen çekinmeden söyleyin.

8. Koruyucu gözaltı tedbiri alınmaması durumunda

Seni çocuk gözetim evine sevk etmemeye karar verdim.

Bugün geri döneceksin.

Ancak, burada mahkeme işlemleri bitmiş değildir.

Daha sonra, soruşturma veya yargılama çğırısı olacaktır. O zaman mutlaka mahkemeye gelin lütfen.

9. Koruyucu gözaltı tedbiri alınması durumunda (Kararın duyurulması vs.)

Seni çocuk gözetim evine sevk etmeye karar verdim.

Çocuk gözetim evinde bulunacağın süre, normal şartlar altında en uzun 4 haftadır. Yine, duruma göre en uzun 8 haftaya kadar sürenin değiştirilmesi söz konusu olabilir.

Bu sürede, çocuk gözetim evinin görevli memurları ve Aile Mahkemesi Denetimli Serbestlik Görevlisi senin karakterin, yaşadığı ortam ve buna benzer konularda sorun olup olmadığını, varsa ne olduğunu öğrenmek için psikolojik test ve araştırma yapacaklar. Bu araştırma ve benzeri konulara mümkün olduğunca yardımcı olmanı rica ediyorum.

Yine, kendi içinde veya hayatındaki problemlerin neler olduğunu, bunları ne şekilde düzeltebileceğini yargılama yarına açıklayabilecek şekilde düşüncelerini toparlayarak hazırla lütfen.

10. Çocuk gözetim evinde alıkoyma tebliğatının açıklanması

Senin, çocuk gözetim evinde alıkonulacağıyla ilgili olarak, baban veya annen gibi velilerine bildirim yapacağız.

Kime bildirim yapılmasını istersin.

Bu kişinin adını, soyadını ve adresini, ayrıca seninle olan ilgisini lütfen belirt.

11. Viyana Antlaşması'nın açıklanması

(İki ülke arasında antlaşmaya dayanan, bildirimin yapılacağı haller hariçtir.)

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、警察や検察官が通報していない場合に限ります。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第2 調査手続

1 前置き

私は、君の担当の家庭裁判所調査官の〇〇です。

君について、〇〇事件が検察官（警察）から家庭裁判所に送られてきました。

今日は、この事件のことや君のこれまでの生活、家族のことなどについて話を聴きたいと思います。

今日は、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からぬ時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 手続の説明

家庭裁判所では、本当に君に非行があるかどうかを確認します。

君に非行がある場合は、どうしてそういうことをしてしまったか、今後繰り返さないためにはどうしたらよいかということを考え、どのような指導や教育が

Senin istemen durumunda, konsolosluk ilişkileri ile ilgili Viyana Antlaşması'na dayanarak, senin ülkenin Japonya'daki büyük elçiliği vb. yerlere bildirim yapılabilir.

Ancak, bu polis yada savcı tarafından henüz bir bildirim yapılmamışsa geçerlidir.

Bildirim yapılmasını ister misin?

Yine, kendi ülkenin Japonya büyük elçiliği gibi yerlere, Japonya'nın kanunlarına aykırı olmazsa, mektup gönderebilirsin.

2. Soruşturma İşlemleri

1. Başlangıç

Ben, senden sorumlu Aile Mahkemesi Denetimli Serbestlik Görevlisi ○○'ym

Seninle ilgili, ○○ olayı savcılık (polis) tarafından Aile Mahkemesine gönderilmiştir.

Bugün, bu olay ve senin bu zamana kadarki yaşamın, ailen ve benzeri konularla ilgili söyleyeceklerini dinlemek düşüncesindeyim.

Bu işlemler mahkeme tarafından seçilmiş bir tercüman tarafından tercüme edilecek.

Tercüman, dürüstçe tercüme edeceğine yemin etmiştir.

Benim sorularımın anlamını anlamadığında, her ne olursa olsun lütfen çekinmeden sor.

2. Çocuğun adı-soyadı vs.'nin kontrolü

Adın nedir?

Doğum tarihin ne zamandır?

Uyruğun neresidir?

Japonya'da nerede yaşıyorsun?

Ne iş正在做着?

3. İşlemlerin Açıklanması

Aile Mahkemesi'nde, gerçekten senin uygunsuz davranışın olup olmadığını kontrol edeceğiz.

Senin uygunsuz davranışın olması durumunda, neden böyle bir şeyi yaptığını, gelecekte tekrarlamaman için neler yapmanın doğru olacağı gibi konular düşünülerek, ne şekilde rehberlik ve

必要かを考慮して最も適当な処分を決めています。

今日は、今回の事件の原因を君と一緒に考えたいと思います。

君から聴いた内容は、裁判官に報告します。

裁判官は、その内容を踏まえた上で、君の処分を決めます。

4 審判の説明

審判は、裁判の一種です。

審判は、原則として非公開で行うことになっています（が、この事件については、裁判所が被害者等に審判を傍聴することを許可しましたので〔被害者等から傍聴の申出が出ていますので、これを裁判所が許可すれば〕、被害者等が審判を傍聴することができます。傍聴が許されるのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重するためであることをよく理解してください。）。

審判廷には、裁判官のほか、家庭裁判所調査官、裁判所書記官、君、君の保護者、君の付添人などが出席します。

審判では、裁判官が君の名前、生年月日、職業、国籍、日本での住居などを確認します。

審判では、今回君がしたとされている非行の内容が告げられ、弁解の機会を与えられます。

君も、審判までに、今回の非行の原因や今後の生活などをよく考えておいてください（また、被害者等が審判の様子を傍聴していますが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。）。

そして、審判の時には、君の考えていることを率直に話すようにしてください。

また、事実と違う点や納得できない点があれば、その機会に述べてください。

5 処分の説明

家庭裁判所の行う処分には、施設に入って生活指導などを受けるものとして少年院送致、児童自立支援施設送致及び児童養護施設送致があります。

eğitimini gerekli olduğunu değerlendirilerek en uygun işleme karar vereceğiz.

Bugün, bu seferki olayın nedenini seninle birlikte düşünmek istiyorum.

Senden duyduğum konuları, yargıca rapor edeceğim.

Yargıcı, bu duyduğum konulara göre, senin işlemlerine karar verecek.

4. Yargılamanın Açıklanması

Yargılama, mahkemenin bir çeşididir.

Yargılama, prensip olarak kapalı usulde yapılmaktadır, (ancak, bu olay hakkında, mahkemeden mağdur vb. kişilerin yargılamayı dinlemeleri için izin verilmiş olduğundan "mağdur vb. kişilerden yargılamayı dinleme talebi olduğundan, mahkeme buna izin verirse", mağdur vb. kişilerin yargılamayı dinlemeleri mümkündür. Dinlemelerine izin verilmesinin nedeni, yargılamanın nasıl yürütüldüğünü doğrudan görüp duyarak, bu durumu ayrıntılarıyla öğrenmek isteyen mağdurların duygularına saygı gösterildiğindendir, lütfen anlayış göster.

Yargılama salonunda, yargıçın dışında, aile mahkemesi denetimli serbestlik görevlisi, mahkeme katibi, sen, senin velin, senin refakatçın vb. kişiler hazır bulunacaklar.

Yargılamada, yargıç senin adını, soyadını, doğum tarihini, işini, uyuşunu ve Japonya'daki yaşadığın yeri ve buna benzer konuları kontrol edecek.

Yargılamada, bu sefer senin yaptığı uygunsuz davranışın içeriği duyurularak, senin mazeretini açıklaman için söz verilecek.

Sen de, yargılamaya kadar bu seferki uygunsuz davranışının nedeni ve gelecekteki yaşamını lütfen iyice düşün (yne, mağdur ve başka kişiler yargılamanın nasıl yürütüldüğünü izleyecekler ancak heyecanlanmadan kendi düşüncelerini anlat lütfen.).

Ve yine, yargılama sırasında, kendi düşüncelerini dürüstçe anlat lütfen.

Ayrıca, gerçekle farklı noktalar veya kabul etmediğin noktalar olursa, o sırada söyle lütfen.

5. Cezalandırmanın Açıklaması

Aile Mahkemesinin uyguladığı cezalar içinde, bir kuruma girerek yaşam tarzına rehberlik alman amacıyla, çocuk ıslah evine sevk, çocuk bağımsızlık destek tesisine sevk ve çocuk koruma

また、社会の中で保護観察官や保護司から指導を受ける保護観察もあります。

さらに、検察官送致といって、事件を刑事裁判に回して大人と同様に罰金や懲役という刑罰によって責任をとつてもらうようにすることもあります。

君が十分に反省しており、二度と非行を繰り返すおそれがないと思われる場合には、これらの処分を行わないで事件を終了させることもあります。

また、審判を開かずに今回の手続を終わらせることもあります。

そのほかに、試験観察という中間的な処分もあります。これは、最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を適当な人の所に預けて補導してもらったり、家に帰って普通の社会生活をしたりする中で、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

なお、家庭裁判所による処分がなくても、入国管理当局の判断で、国外退去などを命じられることがあります。

第3 審判手続

1 審判開始の宣言

今から、審判を開いて、君の処分を決めることにします。

今日の手続については、裁判所が選任した通訳人が通訳することになります。

通訳人は、誠実に通訳することを宣誓しています。

私の質問の意味が分からない時は、何でも遠慮なく聞いてください。

2 少年の氏名などの確認

名前は何といいますか。

生年月日はいつですか。

国籍はどこですか。

日本ではどこに住んでいますか。

仕事は何をしていますか。

3 黙秘権の告知

kurumuna sevk vardır.

Yine, toplum içinde koruyucu gözetim memuru veya gönüllü gözetim memuru tarafından rehberlik edilen, denetimli gözetim de vardır.

Bunlardan başka, savcılığa sevk denilen, olayın ceza davasına dönüştürülerek, yetişkinlerle aynı para cezası veya hapis cezası ile cezalandırılarak sorumluluk alman da vardır.

Senin yeterince pişman olman, bir daha kabahat işleme endişesi olmadığı düşünülürse, bu tür bir cezalandırma yapılmaksızın, olayın sonuçlandırılması da vardır.

Ayrıca, yargılama başlatmaksızın, bu seferki işlemlerin bitirilmesi de vardır.

Bunların dışında, deneme amaçlı gözetim denilen orta dereceli cezalandırma da vardır. Bu, son işleme karar vermeden önce, belli bir süre, seni uygun bir kişinin yanına emanet ederek rehberlik ettirmek, evine geri göndererek normal toplum içinde, senin hareketlerinin veya yaşam durumunun gözlenerek, bu süreç izlenip, bir kere daha yargılama açılarak, en son işleme karar vermektedir.

Yine, Aile Mahkemesi tarafından cezalandırma olmasa bile, göçmen bürosunun kararıyla, yurt dışına çıkartılman vb. emredilmesi olabilir.

3. Yargılama İşlemleri

1. Yargılama Başlangıç Bildirisi

Şimdi, yargılamayı açarak, senin cezanı kararlaştıracağımız.

Bugünkü işlemler, mahkeme tarafından seçilmiş bir tercüman tarafından tercüme edilecek.

Tercüman, dürüstçe tercüme edeceğine yemin etmiştir.

Benim sorularımın anlamını anlamadığında, her ne olursa olsun lütfen çekinmeden sor.

2. Çocuğun adı-soyadı vs.'nin kontrolü

Adın nedir?

Doğum tarihin ne zamandır?

Uyruğu neresidir?

Japonya'da nerede yaşıyorsun?

Ne iş yapıyorsun?

3. Susma Hakkının Tebliği

これから君に質問をしていきますが、君はこれらに無理に答える必要はありません。黙っていてもそれだけで不利になることはありません。

言いたいことがあれば、何でも遠慮なく話してください。

ただし、君が話したことは、君にとって有利か不利かを問わず、証拠として使われることがあります。

4 被害者等の傍聴がある場合の説明

この事件では、被害者等が審判を傍聴しています。傍聴を許可したのは、審判の様子を直接見聞きしてその状況を詳しく知りたいという被害者等の心情を尊重したためです。被害者等が審判の様子を傍聴しているが、落ち着いて自分の考えを話すようにしてください。

5 非行事実の告知

これから、検察官（警察）から送られてきている事件の内容を読みます。よく聞いておいてください。

〔第4（非行事実の告知）参照〕

6 少年の弁解の聴取

今読んだ内容について、間違っていることや分からぬことがあつたら、何でも遠慮なく言ってください。

7 証人尋問手続

今から、あなたをこの事件の証人として尋問します。

まず、うそをつかないという宣誓をしていただきます。宣誓書の内容を読み上げてください。

（証人）「良心に従って、ほんとうのことを申します。知っていることをかくしたり、無いことを申したりなど、決して致しません。以上のとおり誓います。証人〇〇」

では、宣誓書に署名押印してください。

証人は、今宣誓したように本当のことを証言してください。

Şimdi sana sorular soracağım ancak senin mecburi olarak cevaplaman gereklidir.
Susmandan ötürü aleyhte bir muameleye maruz kalmayacaksın.

Söylemek istedigin bir şey olursa, her şeyi çekinmeksizin konuş lütfen.

Fakat, senin konuştuğun, senin için lehte veya aleyhte olduğuna bakılmaksızın, delil olarak kullanılabilir.

4. Mağdur vb. Kişilerin Katılım Olması Durumunda Açıklama

Bu olayda, mağdur vb. kişiler yargılamayı dinlemektedir. Dinlemeleri için izin verilmesinin nedeni, yargılamanın nasıl yürütüldüğünü doğrudan görüp duyarak, bu durumu ayrıntılarıyla öğrenmek isteyen mağdurların duygularına saygı gösterildiğindendir. Mağdur vb. kişiler yargılamanın nasıl yürütüldüğünü izleyeceklerdir, ancak heyecanlanmadan kendi düşüncelerini anlat lütfen.

5. Uygunsuz davranışın duyurulması

Şimdi, savcı (polis) tarafından gönderilen olay içeriğini okuyacağım. Lütfen dikkatlice dinleyin.

(4. Bknz. (Uygunsuz davranış içeriğinin tebliği))

6. Çocuğun mazeretinin dinlenmesi

Okuduğum içerikle ilgili, yanlış olan veya anlamadığın varsa, ne olursa olsun çekinmeksizin söyleyin lütfen.

7. Tanıkların sorgulanması işlemi

Şimdi seni, olayın tanığı olarak sorgulayacağım.

Öncelikle, yalan söylemeyeceğine dair yemin ettireceğim. Lütfen yemin belgesinin içeriğini okuyunuz.

(Tanık) "Vicadanıma uyararak, gerçekleri söyleyeceğimi beyan ederim. Bildiğimi saklamak, olmayanı söylemek gibi eylemleri asla yapmayacağım. Burada yazılanlara uyacağımı yemin ederim. Tanık ○○"

Şimdi yemin belgesine, adınızı ve soyadınızı yazarak imzalayınız.

Tanık, şu an yemin ettiği gibi, lütfen gerçeklere uygun ifade versin.

宣誓の上でうその証言をすると、偽証罪で処罰されることがあります。

証言することによって証人自身又は証人の近親者が刑事訴追を受けたり、有罪の判決を受けたりするおそれのある事柄については、証言を拒むことができます。その場合には、申し出てください。

[証人尋問の実施]

以上で証人尋問を終わります。

証人は、御苦労さまでした。

8 聽取の終了

これで話を聞くのを終わりにして、君に対する処分を決めることにします。最後に何か言っておきたいことがあれば言ってください。

9 調査官の意見陳述

既に提出している少年調査票記載の意見欄のとおりで、特に付け加えることはありません。

10 付添人の意見陳述

意見書のとおりで、特に付け加えることはありません。

11 決定などの告知及びその説明

それでは、今から君の処分を告知します。

[第5（決定などの告知及びその説明）参照]

12 抗告権の告知（保護処分に付された場合）

この決定に不服があるときは、君や君の法定代理人及び付添人は、抗告することができます。

抗告する場合には、2週間以内に、○○高等裁判所宛ての抗告の申立書をこの裁判所に出してください。

抗告の申立書は、少年院などの施設の長又はその代理者を通じて出すことができます。

13 ウィーン条約の説明（少年院送致や少年院への戻し収容の場合）

Yemininizin üzerine yalan söylemeniz durumunda, yalan yere tanıklık suçundan cezalandırılma durumunuz olabilir.

İfadelerin sonucunda tanığın kendisi veya yakınlarının cezai dava soruşturması geçirmesi, suçlu olarak hüküm verilmesi endişesi olan konular hakkında, ifade vermeyi reddedebilirsin. Böyle bir durumda, söyleyiniz.

(Tanık sorgulama işlemi)

Bu şekilde, tanık sorgulamayı bitiriyorum.

Tanığa yardımlarından dolayı teşekkür ederim.

8. Dinlemenin bitirilmesi.

Burada, konuşmaları dinlemeyi bitirerek, sana verilecek cezaya karar vereceğim. Son olarak, söylemek istediğin bir şey varsa, konuşunuz.

9. Denetimli Serbestlik Görevlisi'nin görüş beyanı

Hali hazırda teslim etmiş olduğum çocuk anket formunda bulunan görüşler hanesindeki gibidir, özel olarak eklemek istediğim bir şey yoktur.

10. Refakatçının görüş beyanı

Görüşlerim yazdığım gibidir, özel olarak eklemek istediğim bir şey yoktur.

11. Karar vs.'nin tebliği ve bunların açıklanması

Öyleyse, şimdi senin cezani tebliğ edeceğim.

(5. Bknz. (Karar vs.'nin tebliği ve bunların açıklaması))

12. Temyiz hakkının tebliği (Gözetim önlemi kararı verilmesi durumunda)

Bu karara itirazın olması durumunda, sen veya yasal temsilcin veya refakatçın, temyiz edebilir.

Temyiz edeceğiniz zaman, ○○ yüksek mahkemesine yönelik temyiz başvuru dilekçesini, 2 hafta içinde bu mahkemeye veriniz.

Temyiz başvuru dilekçesi, çocuk ıslah evi vb. kurumların yöneticisi veya onların temsilcileri aracılığıyla da teslim edilebilir.

13. Viyana Antlaşması'nın açıklanması (çocuk ıslah evine sevk veya çocuk ıslah evine geri gönderip alıkoyma durumunda)

[二国間条約に基づく通報を行うこととされている場合を除く。]

君の希望があれば、領事関係に関するウィーン条約に基づいて、君の国の駐日大使館などに通報します。

ただし、今までにこの事件で通報していない場合に限ります。

通報を希望しますか。

なお、君の国の駐日大使館などに対しては、日本の法令に反しない限り、手紙を出すことができます。

第4 非行事実の告知

1 窃盗罪（万引）の例

「君は、平成〇年5月10午後1時23分頃、東京都〇〇区〇〇町1丁目5番12号所在の株式会社〇〇店において、同店の店長であるAが管理していた万年筆5本（販売価格合計5万円）を盗んだものです。」

2 窃盗罪（バイク盗）の例

「君は、平成〇年10月12日午後3時35分頃、東京都〇〇区〇〇町2丁目3番5号先路上において、Aが所有する第一種原動機付自転車1台（時価約15万円相当）を盗んだものです。」

3 遺失物等横領罪の例

「君は、平成〇年7月21日午後9時30分頃、東京都〇〇区〇〇町5丁目3番4号所在の〇〇自転車置場において、その場所に放置されていたAが所有する自転車1台（時価約6000円相当）を発見し、これを自分の物にするつもりで拾得して横領したものです。」

4 傷害罪の例

「君は、平成〇年1月15日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町1丁目6番15号先路上において、Aが君の身体にぶつかったことから口喧嘩し、腹を立てて、持っていた長さ約50センチメートルの木棒でAの頭部を5、6回

(İki ülke arasında antlaşmaya dayanan, bildirimin yapılacağı haller hariçtir.)

Senin istemen durumunda, konsolosluk ilişkileri ile ilgili Viyana Antlaşması'na dayanarak , senin ülkenin Japonya'daki büyük elçiliği vb. yerlere bildirim yapılabilir.

Ancak, bu zamana kadar bu olayın bildirimi yapılmamışsa geçerlidir.

Bildirim yapılmasını ister misin?

Yine, kendi ülkenin Japonya büyük elçiliği gibi yerlere, Japonya'nın kanunlarına aykırı olmazsa, mektup gönderebilirsin.

4. Uygunsuz davranış içeriğinin tebliği

1. Hırsızlık Suçu (Dükkan Hırsızlığı) Örneği

”Sen, 10 Mayıs XXXX tarihi, öğleden sonra saat 1:23 civarında, Tokyo ○○ku○cho 1-5-12 adresinde bulunan,○○ A.Ş. mağazasında, aynı mağazanın mağaza yöneticisi A'nın sorumlu olduğu 5 adet dolmakalemi (toplam satış fiyatı 50 bin Yen) çalmış olduğundur.”

2. Hırsızlık Suçu (Motorsiklet Çalmak) Örneği

”Sen 12 Ekim XXXX tarihi, öğleden sonra saat 3:35 civarında, Tokyo ○○ku○cho 2-3-5 adresi yol üzerinde , A'nın sahibi olduğu 1. Tür motorlu bisikleti 1 adet (o anki piyasa değeri yaklaşık 150 bin Yen) çalmış olduğundur.”

3. Kayıp eşyaların zimmete geçirilmesi suç örneği

”Sen 21 Temmuz XXXX tarihi, öğleden sonra saat 9:30 civarında, Tokyo ○○ku○cho 5-3-4 adresinde bulunan bisiklet parkında, burada bırakılmış olan, A'nın sahibi olduğu bisikleti bulmuş 1 adet (o anki piyasa değeri yaklaşık 6 bin Yen), onu kendine mal edinme niyetiyle alarak zimmete geçirmiş olduğundur.”

4. Bedeni Zarar Verme Suç Örneği

”Sen 15 Ocak XXXX tarihi, öğleden sonra saat 10:30 civarında, Tokyo ○○ku○cho 1-6-15 adresi yol üzerinde , A'nın senin vücutuna çarpması nedeni ile kavga etmiş, sınırlenerek, yanında bulundurduğu uzunluğu yaklaşık 50 santimetrelük tahta sopa ile A'nın başına 5-6 defa şiddetlice

強く叩き、それによって、Aに対し、加療約3週間を要する前頭部裂傷の傷害を負わせたものです。」

5 強盗罪の例

「君は、生活費に困り、通行人からお金を奪い取ろうと考えて、平成〇年6月13日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町3丁目1番12号先路上において、通りかかったA（当時18歳）を近くの路地に連れていき、Aに対し、持っていた登山ナイフを突きつけながら「金出せ。金出せ。」と言って脅迫し、Aが反抗できない状態にした上、Aの所有していた現金3万円を差し出させて奪い取ったものです。」

6 殺人罪の例（その1）

「君は、平成〇年7月12日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町3丁目10番5号所在の平和住宅1号室において、君の長男A（当時生後1か月）の養育に疲れ、将来を悲観して、Aを殺そうと決意し、持っていたタオルでAの頸部を絞めつけるなどし、そのことによりAを窒息死させて殺害したものです。」

7 殺人罪の例（その2）

「君は、平成〇年1月31日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町6丁目3番4号先路上において、A（当時19歳）から身体が触れたことで因縁をつけられ、突然腹部などを数回足蹴りするなどの暴行を加えられたことにかつとなり、とっさに、殺意をもって、持っていたナイフ（刃体の長さ約15センチメートル）で、Aの右胸部を数回突き刺し、右胸部に刺し傷を負わせ、間もなく、その場所において、その刺し傷による出血多量によりAを死亡させて殺害したものです。」

8 覚せい剤取締法違反罪の例

「君は、法定の除外事由がないのに、平成〇年10月21日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町1丁目2番8号所在の平和住宅2号室において、フェニルメチルアミノプロパンの塩類若干量を含有する水溶液を、自分の身体に注

vurmuş, baş bölgesi ön kısmında derin kesik yaralanması nedeniyle, A'nın yaklaşık 3 haftalık tedavi görmesini gerektiren bedeni zarar verdiğindir.”

5. Soygun Suçu Örneği

”Sen, yaşam giderlerinin sıkıntısıyla, yoldan geçen bir kişinin parasını gasp etmeyi düşünerek, 13 Haziran XXXX tarihi, Tokyo ○○ku○○cho 3-1-12 adresi yol üzerinde, geçmekte olan A'yı (Olay anında 18 yaşında) yakındaki dar sokağa götürerek, bulundurduğu dağcı bıçağını A'ya dürterek カネダセ。カネダセ” diye söyleyip tehdit etmiş, A'yı karşı gelemez hale getirdikten sonra, A'nın sahip olduğu nakit 30 bin Yen'i verdirerek gasp etmiş olduğunu.”

6. Cinayet Suçu Örneği (1)

”Sen 12 Temmuz XXXX tarihi, öğleden sonra saat 10:30 civarında, Tokyo ○○ku○○cho 3-10-5 adresindeki Heiwa Konutu 1 numaralı dairede, senin büyük oğlun A'nın (Olay anında 1 aylık) bakımından yorulmuş, geleceğinle ilgili karamsarlıkla A'yı öldürmeye karar vermiş, bulundurmaktan olduğun havluyla A'nın boyun bölgesini sıkmak gibi eylemlerde bulunmuş, bundan dolayı A boğularak ölmüş, cinayet işlemiş olduğunu.”

7. Cinayet Suçu Örneği (2)

”Sen 31 Ocak XXXX tarihi, öğleden sonra saat 10:30 civarında, Tokyo ○○ku○○cho 6-3-4 adresi yol üzerinde, A (Olay anında 19 yaşında) tarafından senin onun vücutuna dokunduğunu bahane ederek, ansızın karın bölgeni vs. bir kaç kere tekmelemesi gibi darp edilmene çok sinirlenerek, ansızın, öldürmek amacıyla, yanında bulundurduğu bıçakla (kesici kısmının uzunluğu yaklaşık 15 santimetre) A'nın sağ göğüs bölgesini birkaç defa saplayarak yaralamış, kısa bir sürede, orada, bu saplama yarası nedeniyle aşırı kan kaybından A'yı öldürerek cinayet işlemiş olduğunu.”

8. Uyarıcı İlaç Kontrol Kanunu'nun İhlâli Suç Örneği

”Sen, kânunen istisna bir muamele olmamasına rağmen, 21 Ekim XXXX tarihi, öğleden sonra saat 10:30 civarında, Tokyo ○○ku○○cho 1-2-8 adresindeki Heiwa Konutu 2 numaralı dairede, az miktarda fenil-metil-amino-propan'ı içeren eriyik maddeyi kendi vücutuna enjekte etmiş,

射し、覚せい剤を使用したものです。」

9 毒物及び劇物取締法違反罪の例

「君は、平成〇年5月12日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町2丁目3番5号先路上において、興奮、幻覚又は麻酔の作用を有する劇物で、政令で定められたトルエンを、みだりに吸入したものです。」

10 過失運転致傷罪の例

「君は、平成〇年10月12日午後3時35分頃、東京都〇〇区〇〇町3丁目7番8号先路上において、普通乗用自動車を運転して〇〇区〇〇町方面から〇〇区〇〇町方面に向かい、時速約80キロメートルの速度で進行中、その場所の手前は左方にカーブして前方の見通しが困難であったので、あらかじめ減速し安全に走行できるようにハンドル、ブレーキなどを的確に操作して進行すべき運転者としての注意義務があったのに、これを怠り、先程の速度のまま的確なハンドル操作をせずに進行した過失により、自分の自動車を対向車線に進入させ、対向して進行してきたA（当時21歳）運転の普通乗用自動車の前部に自分の自動車の右前部を衝突させ、Aに全治約2か月間を要する右大腿骨骨折などの傷害を負わせたものです。」

11 道路交通法違反（無免許運転）の例

「君は、公安委員会の運転免許を受けないで、平成〇年10月5日午後10時30分頃、東京都〇〇区〇〇町5丁目9番5号〇〇町交差点付近路上において、自動二輪車を運転したものです。」

12 道路交通法違反（速度違反）の例

「君は、平成〇年2月13日午後10時30分頃、公安委員会が道路標識によって最高速度を時速40キロメートルと定めた東京都〇〇区〇〇町2丁目5番7号付近道路において、その最高速度を超える時速80キロメートルで普通乗用自動車を運転したものです。」

13 売春防止法違反の例

dolayısıyla uyarıcı ilaç kullanmış olduğundur.”

9. Zehirli ve Zararlı Maddeler Kontrol Kanunu'nun İhlâli Suç Örneği

”Sen, 12 Mayıs XXXX tarihi, öğleden sonra saat 10:30 civarında, Tokyo ○○ku○○cho 2-3-5 adresi yol üzerinde, tahrik, halisülasyon ve yine anestezik etkisi olan zararlı maddelerden, devlet yönetmeliğince belirlenmiş tolüeni izinsiz olarak solumuş (içmiş) olduğundur.”

10. Dikkatsiz Taşıt Kullanma Sonucu Yaralanmaya Sebebiyet Suç Örneği

”Sen, 12 Ekim XXXX tarihi, öğleden sonra saat 3:35 civarında, Tokyo ○○ku○○cho 3-7-8 adresi yol üzerinde, normal binek aracı sürerek ○○ku○○cho yönünden ○○ku○○cho yönüne doğru gitmekte, saatte 80 km. hızla ilerlemekte olduğun sırada, söz konusu yerin öncesinde sola doğru viraj ve ileriyi görmenin zorluğu nedeniyle, başta yavaşlaman, emniyetli geçiş için direksiyon, fren vs. nin uygun şekilde kullanımıyla ilerlemen, sürücü olarak dikkat etme yükümlülüğün olduğu halde, bunları ihmali etmiş, yukarıda belirtilen hızıyla uygun direksiyon kullanımında bulunmaksızın ilerlemiş dikkatsizliğin nedeniyle kendi aracını karşı şeride sokmuş, karşı yönde ilerlemekte olan A'nın (Olay anında 21 yaşında) sürmekte olduğu normal binek aracın ön kısmına kendi aracının sağ ön kısmını çarptırmış, A'ya tam tedavisi yaklaşık 2 ay süre gerektiren, sağ uyluk kemiği kemik kırılması gibi bedeni zarar vermiş olduğundur.”

11. Yol ve Trafik Kanunlarının İhlâli (Sürücü Belgesi Olmaksızın Araç Kullanmak) Örneği

”Sen, Kamu Güvenlik Komisyonu Sürücü Belgesini almaksızın, 5 Ekim XXXX tarihi, öğleden sonra saat 10:30 civarında, Tokyo ○○ku○○cho 5-9-5 ○○cho trafik kavşağı yakınlarındaki yol üzerinde, İki tekerlekli motorlu aracı (Motorsiklet) sürdürdü.”

12. Yol ve Trafik Kanunlarının İhlâli (Hız İhlâli) Örneği

”Sen, 13 Şubat XXXX tarihi, öğleden sonra saat 10:30 civarında, Kamu Güvenlik Komisyonunun trafik levhasıyla azami hızı saatte 40 km. olarak tespit ettiği Tokyo ○○ku○○cho 2-5-7 adresi yakınlarındaki yol üzerinde, bu azami hızı geçen saatte 80 km. hızla normal binek aracı sürmüştür.”

13. Fuhuşu Önleme Kanunlarının İhlâli Örneği

「君は、売春をする目的で、平成〇年3月10日午後6時35分頃、東京都〇〇区〇〇町1丁目1番18号付近路上において、その場所を通行中のAに対し、「遊びませんか社長。ホテルいい3万円。」などと言って誘い、公衆の目に触れるような方法で人を売春の相手方となるよう勧誘したものです。」

14 出入国管理及び難民認定法違反の例

「君は、〇〇国国籍を有する外国人で、平成〇年6月12日、〇〇国の政府が発行した旅券を持って、千葉県成田市にある新東京国際空港に上陸して日本の国に入ったのですが，在留期限は同年6月27日までであったのに、その日までに日本の国から出国せず、平成〇年6月9日まで、東京都〇〇区〇〇町3丁目5番12号に住み、在留期間を経過して不法に日本の国に残留したものです。」

15 ぐ犯の例

「君は、〇〇国の養父母のもとで育ち、平成〇年4月20日頃、出稼ぎのために来日し、その年の5月1日頃からストリップ劇場でダンサーとして働くようになりました。その後、同じような劇場数か所を転々とし、現在は、東京都〇〇区〇〇町2丁目3番8号所在の、暴力団〇〇組幹部で覚せい剤取締法違反の前科、前歴を有するA方のアパートに泊まり、A及びその仲間と共に無為徒食の生活を送っていました。そして、この間、君は、数十名の劇場の客や複数の暴力団組員と性的関係を持って小遣いをもらうなど、いかがわしい場所に入りするとともに、犯罪性のある人と交際しています。君の性格、環境に照らし、将来、売春防止法違反あるいは覚せい剤取締法違反の罪を犯すおそれがあるというのが事件の内容です。」

第5 決定などの告知及びその説明

1 保護観察決定などの告知及びその説明

(1) 保護観察決定の告知及びその説明

”Sen, fuhuş yapmak amacıyla, 10 Mart XXXX tarihi, öğleden sonra saat 10:30 civarında, Tokyo ○○ku○○cho 1-1-18 adresi yol üzerinde, bu yerden geçmekte olan A’ya ” アソビマセンカ シャチヨウ。ホテルイイ 3 マンエン” diye seslenerek çağrımiş, umumun gözüne çarpacak bir şekilde kişiyi fuhuşun karşı tarafı olması için davet etmiş olduğunu.”

14. Emigrasyon Kontrol ve Mülteci Kabulü Kanunu İhlâl Örneği

Sen, ○○ uyruğuna sahip yabancı ülke vatandaşı olup, 12 Haziran XXXX tarihinde, ○○ Devletinin Hükümeti tarafından verilen pasaportu bulundurarak, Chiba-ken Narita Şehri’nde bulunan Narita Uluslararası Havaalanından karaya çıkıp ülkemize giriş yapmış ancak kalışına izin verilen süre aynı yıl 27 Haziran tarihine kadar olmasına rağmen, bu tarihe kadar Japonya’dan çıkış yapmayarak, 9 Haziran XXXX tarihine kadar, Tokyo ○○ku○○cho 3-5-12 adresinde yaşamış, kalışına izin verilen süreyi geçirerek kanunlara aykırı bir şekilde Japonyada kalmış olduğunu.”

15. Suç İşleme Olasılığı Bulunma Örneği

Sen, ülkesinin evlat edinilen ebeveynin yanında yetişmiş, 4 Nisan XXXX tarihinde, çalışmak amacıyla Japonya ya gelmiş, ve o yılın 1 Mayıs tarihinden itibaren striptiz kulübünde, dansöz olarak çalıştin. Bunun sonrasında, aynı türdeki bir kaç yeri dolaşarak, şu an Tokyo ○○ku○○cho 2-3-8 adresinde bulunan organize suç örgütü ○○’nın lideri olup uyarıcı maddelerin kontrol kanunu ihlallinden sicil ve sabıkası bulunan A’nın apartmanında konaklamakta, A ve onun ortaklarıyla beraber işsiz ve avare bir yaşam sürdürmektedin. Ve, bu süre içinde sen, onlarca kulüp müsterisi kişi ve birçok organize suç örgütü üyesi ile cinsel ilişkiye girerek harçlık almak gibi eylemlerde bulunup, karanlık yerlere girip-çıkmakta, suçlu kişilerle arkadaşlık etmektesin. Senin, karakterine, bulunduğu çevreye bakıldığından, gelecekte Fuhuşu Önleme Kanunlarının İhlâli veya Uyarıcı İlâç Kontrol Kanun İhlâli suçlarını işlemeye endişesi olduğunu.”

5. Karar vs.’nin Tebliği ve Bunların Açıklanması

1. Koruyucu Gözetim Kararı Vs.’Nin Tebliği Ve Bunun Açıklanması

(1) Koruyucu Gözetim Kararının Tebliği ve Bunun Açıklaması

君を○○保護観察所の保護観察に付します。

保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官や保護司の指導を受けることになります。

(2) 交通短期保護観察の処遇勧告の告知及びその説明

君を交通保護観察に付します。ただし、保護観察所に対しては、短い期間で処遇が終わるようという勧告を付けておくこととします。

交通保護観察では、社会生活をしながら、保護観察官による指導を受けるほか、交通に関する講習を受けることになります。

2 児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明

君を児童自立支援施設（児童養護施設）に送致します。

君は児童自立支援施設（児童養護施設）に入所し、施設の職員から生活指導などを受けることになります。

3 少年院送致決定などの告知及びその説明

(1) 少年院送致決定の告知及びその説明

君を第○種少年院に送致します。

君は、少年院に収容され、生活指導などの矯正教育を受けることになります。

(2) 処遇勧告の告知及びその説明

ア 短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

イ 特別短期間の処遇勧告の説明

少年院に対しては、特に短い期間で処遇を終えることが適当であるとの処遇勧告を付けておくこととします。

また、できる限り日課の一部を君に計画させ、実施させることなど開放的な教育を受けることができるよう求める勧告も付けておくこととします。

4 不処分決定の告知

Seni ○○ koruyucu gözetim kurumunun koruyucu gözetimine alıyorum.

Koruyucu gözetimde, toplumsal etkinlikler yaparak, koruyucu gözetim memuru veya gönüllü gözetim memuru tarafından rehberlik alacaksın.

(2) Trafik Suçlarından Kısa Dönem Koruyucu Gözetim Bakım Önerisinin Tebliği ve Bunun Açıklaması

Seni ○○ trafik koruyucu gözetimine alıyorum. Ancak, koruyucu gözetim kurumuna, kısa dönem bakım ile bitirilmesi şeklinde öneride bulunacağım.

Trafik koruyucu gözetimde, toplumsal etkinlikler yaparak, koruyucu gözetim memuru veya gönüllü gözetim memuru tarafından trafik ile ilgili ders alacaksın.

2. Çocuk Bağımsızlık Destek Tesisi veya Çocuk Koruma Kurumuna Sevk Kararının Tebliği ve Bunun Açıklanması

Seni, Çocuk Bağımsızlık Destek Tesisi (Çocuk Koruma Kurumuna) sevk edeceğim.

Sen, Çocuk Bağımsızlık Destek Tesisi'ne (Çocuk Koruma Kurumuna) girerek kurum görevlilerinden, yaşam tarzına yönelik rehberlik alacaksın.

3. Çocuk İslah Evine Sevk Kararı vs.'nin Tebliği ve Bunun Açıklanması

(1) Çocuk İslah Evine Sevk Kararının Tebliği ve Bunun Açıklanması

Seni ○. tip çocuk gözetim evine sevk edeceğim.

Sen, çocuk islah evinde alikonulacak, yaşam tarzına yönelik rehberlik gibi islah eğitimi alacaksın.

(2) Bakım Önerisinin Tebliği ve Bunların Açıklanması

(a) Kısa Dönem Bakım Önerisinin Tebliğinin Açıklaması

Koruyucu gözetim kurumuna, kısa dönem bakım ile bitirilmesinin uygun olduğu şeklinde öneride ekleyeceğim.

(b) Özel Kısa Dönem Bakım Önerisinin Tebliğinin Açıklaması

Koruyucu gözetim kurumuna, kısa dönem bakım ile bitirilmesinin uygun olduğu şeklinde öneride ekleyeceğim.

Yine, mümkün olduğunca günlük işlerinin bir kısmını sana planlatılarak, uygulanması gibi açık eğitim almanı talep eden öneride ekleyeceğim.

4. Cezalandırmama Kararının Tebliği

君を保護処分に付さないことにします。

5 知事又は児童相談所長への送致決定の告知

君の事件を○○児童相談所長（○○知事）に送致します。

6 檢察官送致決定の告知

君の事件を○○地方検察庁の検察官に送致します。

7 強制的措置許可決定の告知

君の事件を○○児童相談所長に送致します。

児童相談所長が、君に対し、平成〇年〇月〇日から、〇年間に、通算〇〇日を限度として、君の自由を制限する強制的な措置をとることを許可することとします。

8 強制的措置不許可決定の告知

児童相談所長が君に対して君の自由を制限するような強制的な措置をとることは、許可しないこととしました。

9 試験観察決定などの告知及びその説明

君を家庭裁判所調査官〇〇の観察に付します。

試験観察は、君に対する最終的な処分を決める前に、一定の期間、君を〇〇に預けて補導してもらいながら（家に帰って普通の社会生活をしながら）、君の行動や生活状況を観察し、その経過を見て、もう一度審判を開き、最終的な処分を決めるものです。

君に対し、試験観察中に守るべき事柄として、①・・・・、②・・・・を指示します。

10 没取決定の告知

押収してある〇〇を没取します。

11 訴訟費用負担決定の告知

家庭裁判所に送致される前の国選弁護費用として要した訴訟費用〇〇万円は君に負担されることにします。

Seni koruyucu gözetime vermemeye karar verdim.

5. Valilik veya Çocuk Danışma Kurum Başkanlığına Sevk Kararının Tebliği

Senin olayını ○○Çocuk Danışma Kurum Başkanlığına (○○ Valiliğine) sevk ediyorum.

6. Savcılığa Sevk Kararının Tebliği

Senin olayını ○○ Bölge Savcılığının Savcısına sevk ediyorum.

7. Zorunlu Tedbirler İçin İzin Kararının Tebliği

Senin olayını ○○Çocuk Danışma Kurum Başkanlığına sevk ediyorum.

Çocuk Danışma Kurum Başkanlığının, senin hakkında, senin XX gün XX ay XXXX yılından itibaren X yıllık süre, toplam YY günle sınırlı olarak, özgürlüğünü kısıtlayacak şekilde zorunlu tedbir almasına izin verilmesine karar verdim.

8. Zorunlu Tedbirler İçin İzin Vermeme Kararının Tebliği

Çocuk Danışma Kurum Başkanlığının, senin hakkında, senin özgürlüğünü kısıtlayacak şekilde zorunlu tedbir almasına izin verilmemesine karar verdim.

9. Deneme Amaçlı Gözetim Kararı vs.'nin Tebliği ve Bunların Açıklanması

Seni, Aile Mahkemesi Denetimli Serbestlik Görevlisi ○○'nin koruyucu gözetimine veriyorum.

Deneme Amaçlı Gözetim, senin son işlemeye karar vermeden önce, belli bir süre, seni ○○'nin yanına emanet edip rehberlik ettirerek (evine geri göndererek normal toplum içinde yaşayarak), senin hareketlerinin veya yaşam durumunun gözlenerek, bu süreç izlenip, bir kere daha yargılama açılarak, en son işleme karar verilmesidir.

Sana, deneme amaçlı gözetim içinde iken uyman gereken konular olarak, ① . . . ,
② . . . emrediyorum.

10. Zapt Kararının Tebliği

Hacz edilmiş olan ○○ zapt ediyorum.

11. Dava Masraflarının Üstlenilmesi Kararının Tebliği

Aile Mahkemesine sevk edilmen öncesi devlet tarafından atanan avukatın masrafı olarak gereken, ○○ Yen dava masraflarını senin üstlenmene karar veriyorum.

12 戻し収容決定の告知

君を第〇種少年院に戻して収容します。

13 収容継続決定の告知

君を平成〇年〇月〇日まで第〇種少年院に継続して収容します。

14 保護処分の取消決定の告知

君に対する保護観察（児童自立支援施設送致、児童養護施設送致、少年院送致）

決定を取り消します。

15 施設送致決定の告知

[前記2（児童自立支援施設又は児童養護施設送致決定の告知及びその説明）
及び3（少年院送致決定などの告知及びその説明）参照]

12. Tekrar Alıkonulma Kararının Tebliği

Seni o. tip çocuk gözetim evine tekrar sevk ediyorum.

13. Alıkoymanın Südürülmesi Kararının Tebliği

Senin GG günü AA ayı XXXX yılına kadar o. tip çocuk islah evinde alıkonulmına devam edilecektir.

14. Koruyucu Gözetim Kararının İptal Kararı Tebliği

Sana karşı verilmiş, Koruyucu Gözetim (Çocuk Bağımsızlık Destek Tesisine Sevk, Çocuk Koruma Kurumuna Sevk, Çocuk İslah Evine Sevk) kararını iptal ediyorum.

15. Kuruma Sevk Kararının Tebliği

(Bakınız: Yukarıda sözü geçen 2 (Çocuk Bağımsızlık Destek Tesisi veya Çocuk Koruma Kurumuna Sevk Kararının Tebliği ve Bunun Açıklanması) ile Çocuk İslah Evine Sevk Kararı gibi tebliğler ve açıklamaları)

第6 書式例

書式1 少年と保護者の皆さんへ（身柄事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、() 保護事件について() 少年鑑別所へ送致されることになりました。少年に対しては、以後、原則として、次の手続で処分が決められます。
 - (1) 観護措置
少年鑑別所では、少年の身柄を確保し、併せて、少年の心身の鑑別を行います。ここでの収容期間は、通常、最大限4週間です。なお、場合によっては、最大限8週間まで更新されることがあります。
 - (2) 調査
(1)の鑑別と並行して、家庭裁判所調査官が少年に関する調査を行います。この調査の目的は、非行の原因、少年の性格や行動のみならず、家庭、学校、職場、友人関係などの環境等について調査し、少年に対して最も有効適切な処分は何かを明らかにすることです。
 - (3) 審判
(2)の調査が終わると、審判を開きます。審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めたときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - (1) 保護観察
通常の社会生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - (3) 少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - (4) 檢察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - (5) 不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - (6) 試験観察
(1)から(5)までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて指導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - (1) 付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - (2) 黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - (3) 不服申立書
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のはか、分からぬことがありますれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

6 FORM ÖRNEKLERİ

Form 1 Çocuk ve Sorumlularına (Alkoyma Durumu İçin)

Çocuk ve Sorumlularına:

1. Bu defa, çocuğun () gözetim davası ile ilgili olarak () Çocuk Gözetim Evi'ne sevk edilmesine karar verildi. İleride, çocuk hakkında genel kurallar dâhilinde, aşağıda yazılı süreç uygulanarak karar verilecektir.

(1) Koruyucu Gözaltı Tedbiri

Çocuk gözetim evinde, çocuğun alıkonulması ve beraberinde çocuğun psikolojik-bedeni sınıflandırılması yapılacaktır. Buradaki alkoyma süresi, normal şartlar altında en uzun 4 haftadır. Ancak duruma göre bu sürenin en çok 8 haftaya kadar uzatılıp değiştirilmesi söz konusu olabilir.

(2) Araştırma

Paragraf (1) de belirtilen sınıflandırmaya paralel olarak, Aile Mahkemesi Denetimli Serbestlik Görevlisi çocuk ile ilgili araştırma yapacaktır. Bu araştırmanın amacı, kötü davranışın sebebini, çocuğun karakter ve davranışlarıyla sınırlı kalmaksızın ailesi, okulu, iş yeri, arkadaşlık ilişkileri vb. gibi çocuğun çevresi hakkında araştırmalar yapılarak, çocuğun kendisi için en etkili kararın ne olacağının açığa çıkartılmasıdır.

(3) Yargılama

Paragraf (2) de belirtilen araştırmaların bitmesi ile yargılama başlatılır. Yargılama, mahkemenin bir çeşididir. Ancak kapalı usulle yapılır. Mahkemeye çocuk, çocuğun sorumlusu (Refakatçının mevcut olması durumunda refakatçısı) katılırlar. (Duruma göre, okul öğretmenleri, gönüllü gözetim memuru, savcı vb. kişilerin de katılımı olabilir.).

Yargılama, çocuğun kötü davranışını yapıp yapmadığı, yine çocuğun karakteri, bulunduğu ortam vb. gibi problemlerinin olup olmadığı hukuken incelenerek, Aile Mahkemesi Denetimli Serbestlik Görevlisinin araştırma sonucu vb. evraklar üzerinde düşünülerek, yargıç tarafından çocukla ilgili karar verilecektir. Yargıcı vb. kişiler tarafından belirtilen konular hakkında, gerçekle farklı noktalar veya kabullenemediğiniz noktalar olursa, lütfen söyleyiniz. Ayrıca, araştırmasını istediğiniz tanık veya deliller olması durumunda, bunları da söyleyebilirsiniz. (Mahkeme tarafından gerekliliği onaylandığı zaman, araştırılır.).

2. Aile Mahkemesi tarafından verilen kararlar aşağıdaki gibidir:

(1) Denetimli serbestlik

Normal toplumsal etkinliklerini sürdürürken, koruyucu gözetim kurumunun koruyucu gözetim memuru vb. kişilerden rehberlik alıp, denetlenerek, çocuğun davranışlarının düzeltmesi ve rehabilitasyonunun gerçekleştirilmemesidir.

(2) Çocuk Bağımsızlık Destek Tesisi veya Çocuk Koruma Kurumuna Sevki

Çocuk bu tesislere alınarak gerekli rehberlik ve bakım uygulanır.

(3) Çocuk İslah Evine Sevk

Çocuğu, Çocuk İslah Evi'nde alkoyarak, ıslah eğitimi uygulanır.

(4) Savcılığa Sevk Kararı

Reşit kişiler ile aynı işlemler dâhilinde, cezai yargılamaya tabii tutulması için, olayın savcılığa sevk edilmesidir.

(5) İşlemsizlik Kararı

Çocuğun kötü davranışının olmadığı zaman ya da olsa bile herhangi bir işlem yapılmasını gerektirmeyen zaman uygulanır.

(6) Deneme Amaçlı Gözetim

Paragraf (1) ila (5) arasında belirtilen son işleme karar vermek için, belirli bir süre, çocuğun hareketleri ve yükümlülüklerini yerine getirmesi izlenir. Deneme amaçlı gözetim süresi içinde, sivil kurum vb. gibi yerlere çocuk emanet edilerek rehberlik edilmeside (Koruma ve Rehberlik Görevinin devri) söz konusu olmaktadır.

3. Çocuk ya da sorumlusuna aşağıdaki haklar tanınmıştır.

(1) Refakatçi Kişi Seçme Hakkı

Çocuk ve onun sorumlusu, refakatçi kişiyi seçebilirler. Refakatçi kişi, aile mahkemesinin yargılamasında işbirliği yapan kişi, yine cezai olaylarda ise avukattır. Ancak, avukatla sınırlı kalmaksızın, sorumlusu ya da sıradan bir kişide, mahkeme tarafından izin verilmesi koşuluyla, refakatçı olabilir.

(2) Susma Hakkı

Çocuğun, yargıç vb. kişilerin sorularını mecburi olarak cevaplaması gerekli değildir. Ancak, mahkeme, çocuğun konuşuklarını düşünerek, uygun karar vermesi söz konusu olduğu için, söylemek istediği her ne olursa olsun doğru konuşmalıdır.

(3) İtiraz Başvuru Dilekçesi

2. Madde, paragraf (1)den (3)e kadar belirtilmiş kararlara karşı itirazı olması durumunda, çocuk ya da yasal temsilcisi veya refakatçısı 2 hafta içinde, yüksek mahkemeye temyiz başvurusunda bulunabilirler.

4. Yukarıdaki açıklamalar dışında, anlaşılamayan bir konu olması halinde Sorumlu Katip veya Denetimli Serbestlik Görevlisi'ne danışınız.

Tarih_Yıl__Ay__Gün

Aile Mahkemesi

Şubesı

書式2 少年と保護者の皆さんへ（在宅事件用）

少年と保護者の皆さんへ

1. この度、少年は、（　　）保護事件について家庭裁判所で審判を受けることになりました。
審判は、裁判の一種ですが、非公開で、審判廷には少年、保護者（付添人があるときは付添人も）が出席します（場合により、学校の先生、保護司、検察官等も出席することがあります。）。審判では、少年が非行を犯したかどうか、また、少年の性格、環境などに問題がないかどうかについて審理をし、家庭裁判所調査官の調査結果などを参考にして、裁判官が少年に対する処分を決めます。
裁判官等から尋ねられたことについて、事実と違う点や納得のできない点があれば述べてください。また、調べてほしい証人や証拠があれば申し出ることもできます（裁判所で必要と認めたときは、取り調べます。）。
2. 家庭裁判所で行う主な処分は次のとおりです。
 - (1) 保護観察
通常の社会生活を続けながら、保護観察所の保護観察官などの指導、監督を受けて、少年の改善、更生を図るものです。
 - (2) 児童自立支援施設又は児童養護施設送致
少年をこれらの施設に入所させて、必要な指導又は養護を行うものです。
 - (3) 少年院送致
少年を少年院に収容して、矯正教育を行うものです。
 - (4) 検察官送致
成人の場合と同様の手続による刑事裁判を受けさせるため、事件を検察官に送致するものです。
 - (5) 不処分
少年に非行がないときや、非行があっても何らの処分をするまでもないときになされるものです。
 - (6) 試験観察
(1)から(5)までの最終処分を決めるため、一定の期間、少年の行動、成績を観察するものです。試験観察の期間中、民間の施設等に少年を預けて補導してもらうこと（補導委託）もあります。
3. 少年や保護者には、次の権利などが認められています。
 - (1) 付添人選任権
少年及び保護者は、付添人を選任することができます。付添人は、家庭裁判所の審判の協力者であるとともに、刑事事件の弁護人に当たるものですが、弁護士に限らず、保護者や一般の人でも、裁判所の許可があれば、付添人となることができます。
 - (2) 黙秘権
少年は、裁判官などの質問に無理に答える必要はありません。ただし、裁判所は、少年が述べたことを参考にして、適切な処分を決めるわけですから、言いたいことは何でも正確に述べてください。
 - (3) 不服申立書
2の(1)から(3)までの決定に対して不服があれば、少年、法定代理人又は付添人は、2週間以内に高等裁判所に抗告の申立てをすることができます。
4. 以上のはか、分からぬことがありますれば、担当の書記官又は調査官に尋ねてください。

平成 年 月 日

家庭裁判所

支部

Form 2 Çocuk ve Sorumlularına (Alikoymama Durumu İçin)

Çocuk ve Sorumlularına:

1. Bu defa, çocuğun () gözetim davası ile ilgili olarak aile mahkemesinde yargılanmasına karar verildi. Yargılama, mahkemenin bir çeşididir. Ancak kapalı usulle yapılır. Mahkemeye çocuk, çocuğun sorumlusu (Refakatçının mevcut olması durumunda refakatçısı) katılırlar. (Duruma göre, okul öğretmenleri, gönüllü gözetim memuru, savcı vb. kişilerinde katılımı olabilir.).

Yargılama, çocuğu kötü davranış yapıp yapmadığı, yine çocuğu karakteri, bulunduğu ortam vb. gibi problemlerinin olup olmadığı hukuken incelenerek, Aile Mahkemesi Denetimli Serbestlik Görevlisinin araştırma sonucu vb. evraklar üzerine düşünülerek, yargıç tarafından çocukla ilgili karar verilecektir. Yargıcı vb. kişiler tarafından belirtilen konular hakkında, gerçekle farklı noktalar veya kabullenemediğiniz noktalar olursa, lütfen söyleyiniz.

Ayrıca, araştırmasını istediğiniz tanık veya deliller olması durumunda, bunları da söyleyebilirsiniz. (Mahkeme tarafından gerekli olduğu onaylandığı zaman, araştırılır).

2. Aile Mahkemesi tarafından verilen kararlar aşağıdaki gibidir.

(1) Denetimli serbestlik

Normal toplumsal etkinliklerini sürdürürken, koruyucu gözetim kurumunun koruyucu gözetim memuru vb. kişilerden rehberlik alıp, denetlenerek, çocuğu davranışlarının düzeltmesi ve rehabilitasyonunun gerçekleştirilmemesidir.

(2) Çocuk Bağımsızlık Destek Tesisi veya Çocuk Koruma Kurumuna Sevki

Çocuk bu tesislere alınarak gerekli rehberlik ve bakım uygulanır.

(3) Çocuk Islah Evine Sevk

Çocuğu, Çocuk Islah Evi'nde alıkoyarak, ıslah eğitimi uygulanır.

(4) Savcılığa Sevk Kararı

Reşit kişiler ile aynı işlemler dâhilinde, cezai yargılama tabii tutulması için, olayın savcılığa sevk edilmesidir.

(5) İşlemsizlik Kararı

Çocuğun kötü davranışı olmadığı zaman ya da olsa bile herhangi bir işlem yapılmasını gerektirmeyen zaman uygulanır.

(6) Deneme Amaçlı Gözetim

Paragraf (1) ila (5) arasında belirtilen son işleme karar vermek için, belirli bir süre, çocuğun hareketleri ve yükümlülüklerini yerine getirmesi izlenir. Deneme amaçlı gözetim süresi içinde, sivil kurum vb. gibi yerlere çocuk emanet edilerek rehberlik edilmeside (Koruma ve Rehberlik Görevinin devri) söz konusu olmaktadır.

3. Çocuk ya da sorumlusuna aşağıdaki haklar tanınmıştır.

(1) Refakatçi Kişi Seçme Hakkı

Çocuk ve onun sorumlusu, refakatçi kişiyi seçebilirler. Refakatçi kişi, aile mahkemesinin yargılamasında işbirliği yapan kişi, yine cezai olaylarda ise avukattır. Ancak, avukatla sınırlı olmaksızın, sorumlusu ya da sıradan bir kişide, mahkeme tarafından izin verilmesi koşuluyla, refakatçi olabilir.

(2) Susma Hakkı

Çocuğun, yargıç vb. kişilerin sorularını mecburi olarak cevaplaması gereklidir. Ancak, mahkeme, çocuğun konuşuklarını düşünerek, uygun karar vermesi söz konusu olduğu için, söylemek istediği her ne olursa olsun doğru konuşmalıdır.

(3) İtiraz Başvuru Dilekçesi

2. Madde, paragraf (1)den (3)e kadar belirtilmiş kararlara karşı itirazı olması durumunda, çocuk ya da yasal temsilcisi veya refakatçısı 2 hafta içinde, yüksek mahkemeye temyiz başvurusunda bulunabilirler.

4. Yukarıdaki açıklamalar dışında, anlaşlamayan bir konu olması halinde Sorumlu Kâtip veya Denetimli Serbestlik Görevlisi'ne danışınız.

Tarih_Yıl__Ay__Gün

Aile Mahkemesi

Şubesı

書式3 審判期日通知書

平成 年 少 第 号	(備考) 審判期日通知書	保護事件				
少 年	殿	保護者				
少年	殿	上記少年に対する保護事件の審判が開かれることになりましたから、少年と保護者の方は一緒にこの書面を持って、				
平成	年	月	日	午前	時	分
に当裁判所に出頭してください。						
(注意) この期日に出頭できないときは、その理由を詳しく書いた書面を必ず下記 裁判所書記官あて郵送ください。						
平成	年	月	日	家庭裁判所	電話(内線)	(代表) 番
裁判所書記官						

Form 3 Yargılama Tarih Bildirimi

Tarih: <u>Yıl (Sho) Sayı:</u>	Gözetim Davası
<u>YARGILAMA TARİH BİLDİRİM BELGESİ</u>	
<u>Cocuğun Adı-Soyadı:</u> <u>Velinin Adı-Soyadı:</u>	(Açıklama)
<p>Yukarıda adı yazılı çocuk hakkında gözetim dava yargılamasının açılması söz konusu olduğu için çocuk ile sorumlu kişinin birlikte, bu evrakı da yanınızda alarak,</p> <p><u>Yıl</u> <u>Ay</u> <u>Günü</u>, Saat <u>:</u> _____ ilgili mahkemedede hazır bulunmanız önemle rica olunur.</p> <p>(Dikkat!) Belirtilen gün ve saatte hazır bulunamamanız halinde, bunun nedenlerini ayrıntılılarıyla yazmış olduğunuz belgeyi aşağıda yazılı Mahkeme Kâtibinin adına en kısa zamanda mutlaka yollayınız.</p> <p>Tarih <u>Yıl</u> <u>Ay</u> <u>Gün</u> Aile Mahkemesi : Mahkeme Kâtibi: <u>Aile Mahkemesi</u> <u>Telefon No:</u> <u>Dâhilî hat :</u></p>	

書式4 呼出状

平成	年少第	号
少 年	殿	少 年
保護者	殿	少 年
住 居		年 月 日 生
上記少年に対する保護事件の審判を、きたる 月 日 前後 時行います ので に出頭して下さい。 なお、正当な理由がないのにこの呼出しに応じないと同行状を発することがあります。		
平成	年 月 日	裁判官
家 庭 裁 判 所		
裁 判 官		

注意 1 当日は認印を持参し、この呼出状を当庁書記官室に差し出してください。

2 病気その他で出頭できないときは、必ず電話、手紙などで当庁書記官室に連絡してください。

Form 4 Celp Emri

CELP EMRİ

Tarih: Yıl (Sho) Sayı:

Cocuğun Adı-Soyadı: _____

Yerinin Adı-Soyadı: _____

Cocuğun Adı-Soyadı: _____

Doğum Tarihi: _____

İkametgâh Adresi: _____

Yukarıda adı yazılı çocuk hakkında _____ Ay ____ Günü, Saat _____ : _____ 'de gözetim davasının yargılaması yapılacağından _____ hazır bulunmanızı rica ederiz.
Geçerli bir mazeret olmaksızın, bu celp emrine karşılık verilmemesi durumunda yakalanarak getirilmeniz için emir çiktartılması söz konusu olacaktır.

Tarih _____ Yıl _____ Ay _____ Gün

Aile Mahkemesi

Yargıç:

Uyarı!

- 1.Belirtilen tarihte mihrünüzü de yanınızda bulundurunuz ve bu celp emrinin mahkeme kâtipinin ofisine teslim ediniz.
2. Hastalık ve buna benzer nedenlerden dolayı hazır bulunamayacağınız zaman, kesinlikle telefon, mektup vs. ile mahkeme kâtipinin ofisine haber veriniz.

書式5 呼び出し状（調査）

平成 年少第 号	事件			
<u>呼び出し状</u>				
少年	保護者	午前	時 分	(備考)
少年の保護事件について調査しますので、少年と保護者は、 月 日 (曜) 午前 午後 この呼出状を持つて、 家庭裁判所 階 少年調査官室に出頭してください。				
平成 年 月 日 家庭裁判所				
家庭裁判所調査官				
家庭裁判所 電話(内線) 番 (代表)				
1 平成 年 月 警察署調べの件です。 2 少年又は保護者が、病気、不在等でやむを得ず出頭でき ない場合は、その旨を担当調査官に連絡してください。 3 当日、 を必ず持参してください。				

Tarih: _____ Yıl (Sho) Sayı: _____ Davası

<p>CELP EMRİ</p> <p><u>Cocuğun Adı-Soyadı:</u> _____</p> <p><u>Velimin Adı-Soyadı:</u> _____</p>	<p>(Açıklama)</p> <p>1. ____ Yıl ____ Ay ____ Polis Karakolundaki soruşturma olayı ile ilgiliidir.</p> <p>2. Çocuk veya velisinin, hasta veya yokluğu vb. gibi nedenlerden dolayı hazır bulunmanız mümkün olmadığında, durum hakkında sorumlu Denetimli Serbestlik Görevlisine bilgi veriniz.</p> <p>3. Söz konusu tarihe, _____ kesinlikle yanınızda bulundurunuz.</p> <p>Çocuğun, ____ Ay ____ Günü, Saat ____ : ____ ‘de gözetim davası ile ilgili soruşturma yapılacağından, çocuk ve sorumlu kişinin birlikte bu belgeyi de yanınızda bulundurarak, Aile Mahkemesi _____ Katunda, Denetimli Serbestlik Görevlisinin Ofisinde hazır bulunmanız rica olunur.</p> <p>Tarih ____ Yıl ____ Ay ____ Gün</p> <p>Aile Mahkemesi</p> <p>Aile Mahkemesi Denetimli Serbestlik Görevlisi</p> <p>Aile Mahkemesi Telefon No: _____ Dahili hat: _____</p>
---	---

書式6 同行状（緊急）

平成 年(少)第 号				執行指揮印	
<h3>同行状（緊急）</h3>					
少年			年 月 日 生		
住居					
上記少年の			保護事件について、下記の理由により、少年		
を当裁判所へ同行する。					
有効期間		平成 年 月 日	まで		
この令状は上記期間経過後はその執行に着手することができない。 この場合には本令状を裁判所へ返還しなければならない。					
平成 年 月 日					
家庭裁判所 裁 判 官					
記					
(審判に付すべき事由)			別紙記載のとおり		
(緊急同行状を発付する理由)			別紙記載のとおり		
(適条)			少年法 12 条 1 項		
(参考)					
1 予想される少年の立ち回り先					

2 本同行状は、 _____ 警察署宛に発付					
執行した日時	平成 年 月 日	午前・午後	時	分	
執行した場所					
執行することができなかつたときはその理由					
所 属 ・ 官 職	氏名			印	
同行された日時	平成 年 月 日	午前・午後	時	分	
裁判所書記官					

Form 6 Refakat Emri (ACİL)

Tarih: _____	Yıl (Sho) Sayı: _____	İnfaz Makamı Mühür		
<h3><u>KORUMA EMRİ (ACİL)</u></h3>				
Çocuğun Adı-Soyadı: _____	Yıl	Ay	Gün	Doğumlu
Konaklama Adresi: _____				
Yukarıda adı yazılı çocuğun, _____ gözetim davası ile ilgili, aşağıda yazılı nedenlerle çocuk ilgili mahkeme tarafından korumaya alacaktır.				
Geçerlilik Süresi: _____ Yıl _____ Ay _____ Gün tarihine kadar.				
Bu emirin, yukarıda yazılı sürenin aşılması sonrasında uygulanması mümkün değildir. Bu durumda, elinizdeki bu emir belgesinin mahkemeye geri iade edilmesi zorunludur.				
Tarih: _____ Yıl _____ Ay _____ Gün				
Aile Mahkemesi Yargıcı				
(Yargılamada bulunulmasını gerektiren neden) _____ Ekte yazılı olduğu gibi.				
(Acil Koruma Emri çıkartılma nedeni) _____ Ekte yazılı olduğu gibi.				
(Uygulanan Kanun Maddesi) _____ Çocuk Hukuku, Madde 12, Fıkra 1				
(Referans) 1. Tahminen çocuğun bulunabileceği yerler: _____				
2. Bu koruma emri, _____ Polis Karakoluna yönelik hazırlanmıştır.				
İnfaz Tarihi	Tarih: _____ Yıl _____ Ay _____ Gün Sabah / Öğleden Sonra Saat _____ : _____			
İnfaz Yeri				
İnfazın gerçekleştiril ememe nedenleri				
Kurum ve Mevki:		Adı-Soyadı:		Mühür
Refakat edilen Tarih: _____ Yıl _____ Ay _____ Gün Sabah / Öğleden Sonra Saat _____ : _____				
Aile Mahkemesi				

書式 7 観護措置通知書

平成	年少第	号	保 護 事 件
<u>観護措置通知書</u>			
殿			
少年			
年 月 日 生			
上記少年に対する保護事件について、審判を行うための必要上、少年は、 平成 年 月 日 少年鑑別所に収容されたから通知する。			
平成	年	月	日
家 庭 裁 判 所			
裁判所書記官			

Form 7 Koruyucu Gözaltı Tedbir Karar Tebliği

Tarih:	Yıl (Sho) Sayı:	Davası
<p style="text-align: center;">KORUYUCU GÖZALTı TEDBİR KARAR TEBLİĞİ</p>		
Sayın: _____		
Cocuğun Adı-Soyadı: _____		
Doğum Tarih: _____		
<p>Yukarıda adı yazılı çocuk hakkında gözetim davası ile ilgili yargılama yapılacağından, gereklilik üzerine çocuğum _____ yıl ____ ay ____ günü çocuk gözetim evinde alkonulduğunu bildiririz.</p>		
Tarih ____ Yıl ____ Ay ____ Gün		
Aile Mahkemesi		
Mahkeme Kâtipi:		

書式8 付添人選任届

平成	年 (少) 第	号
<p style="text-align: center;"><u>付添人選任届</u></p>		
<p style="text-align: center;">家庭裁判所 御中</p>		
少年 弁護士		
に対する 保護事件について		
を付添人に選任いたしましたから連署の上お 届けいたします。		
平成 年 月 日		
選任者(少年) (保護者)		
付添人住所		
付添人		
(注) 選任者()内は該当するものに○印をつける。		

Form 8 Refakatçi Kişi Seçim Bildirimi

Tarih: _____ Yıl (Sho) Sayı: _____ Davası

REFAKATÇI KİŞİ SEÇİM BİLDİRİMİ

Aile Mahkemesi'ne

Çocuk, _____ hakkında _____ görevim davası ile ilgili olarak Avukat _____ refakatçi kişi olarak seçmiş olduğumuzu, ilgili kişilerin imzasıyla birlikte bildiririz.

Tarih _____ Yıl _____ Ay _____ Gün

Seçimi Yapan Kişi (Çocuk / Velisi)
Adı-Soyadı: _____

Refakatçi Kişinin Adresi: _____

Refakatçi Kişinin Adı-Soyadı: _____

書式9 付添人選任に関する通知及び照会

(法22条の3第1項、規30条の3第1項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する通知及び照会

少 年 殿

保護事件名

あなたの事件では、慎重に手続きを進めるため、弁護士である付添人がいなければ審判できません。

あなたやあなたの家族が弁護士である付添人を選任しないときは、裁判所が弁護士である付添人を選任します。

そこで、同封した回答書に答えて書いて、月 日までに 家庭裁判所に着くように送ってください。あなたが少年鑑別所にいるときは、鑑別所の先生に渡してください。

平成 年 月 日

家庭裁判所 (担当者)

電話 内線 番

Form 9 Refakatçı Kişi Seçme Tebligatı ve Sorgu

(Kanun Madde 22 Fıkra 3-1, Yönetmelik Madde 30 Fıkra 3-1)

Tarih: Yıl (Sho) Sayı:

Refakatçı Kişinin Seçimi Hakkında Tebliğat ve Sorgu

Cocuğun Adı-Soyadı: _____

Gözetim Dava Konusu _____

Sizin olayınızda, işlemlerinizin ihtiyatla yürütülmesi için, avukat olan refakatçı kişinin mevcut olmaması durumunda yargılama yapılamaz.

Siz veya sizin aileniz avukat olan refakatçı kişiyi seçmemeniz durumunda, mahkeme tarafından avukat olan refakatçı seçilecektir.

Bu nedenle, bu evrak beraberindeki cevap formuna cevabınızı yazarak, Ay Gününe kadar, Aile Mahkemesine ulaşacak şekilde gönderiniz. Eğer, siz bir Çocuk Gözetim Evi'nde bulunuyorsanız, Gözetim Evi yetkililerine elden veriniz.

Tarih: Yıl Ay Gün

Aile Mahkemesi (Sorumlu Kişi:)

Tel: Dâhilî Telefon:

書式 10 付添人選任に関する回答書

(法 22 条の 3 第 1 項, 規 30 条の 3 第 1 項)

平成 年(少)第 号

付添人選任に関する回答書

家庭裁判所 御中

保護事件について、次のとおり回答します。

※ レ印を付けてください。

私か私の家族が弁護士である付添人をつけます

付添人の名前は、(弁護士会) です。

(分かれば書いてください。)

裁判所で弁護士である付添人を付けてください。

平成 年 月 日

少年

印

Form 10 Refakatçı Kişinin Seçimi Cevap Formu

(Kanun Madde 22 Fıkra 3-1, Yönetmelik Madde 30 Fıkra 3-1)

Tarih: Yıl (Sho) Sayı:

**Refakatçı Kişinin Seçimi
Cevap Formu**

Aile Mahkemesi Sayın

Gözetim davası ile ilgili cevabım aşağıda yazılı olduğu gibidir.

※ ✓ Şeklinde işaretleyiniz.

Ben veya benim ailem, avukat olan refakatçiyi kişiyi seçiyoruz.

Refakatçı Kişinin Adı-Soyadı,

(Avukatlık Barosu)(Bilmeniz halinde lütfen yazınız.)

Ben veya benim ailem, avukat olan refakatçı kişiyi seçmenizi istiyoruz.

Tarih Yıl Ay Gün

Çocuğun Adı-Soyadı:

Mühür

書式 11 決定通知書（審判不開始決定）

決 定 通 知 書

少 年

殿

(保護者)

平成 年 月 日
家庭裁判所
裁判所書記官

少年に対する平成 年少第 号 保護事件について
は、調査の結果、本日 裁判官の決定により少年法第 19 条 1 項を適用し、こ
の事件については審判を開始しないで事件を終わらせることになりました。
この決定は、少年自身の自覚により再非行のないことを期待して行われたものですから再
び過ちを犯さないよう心がけてください。

Form 11 Karar Tebligi (Yargılamanın Yapılmaması Kararı)

KARAR TEBLİĞATI

Cocuk: _____

Sorumlu Kişi: _____

Tarih _____ Yıl _____ Ay _____ Gün

AİLE MAHKEMESİ

AİLE MAHKEME KÂTİBİ

Çocuk hakkindaki _____ Yıl (Sho) _____ Sayı _____ gözetim davası ile ilgili soruşturma sonucunda, bugün Yargıcı _____ tarafından, Çocuk Hukukunun 19. Madde 1. Fikrası uygulanarak, bu olay hakkında yargılama yapılmaksızın olayın bitirilmesine karar verilmiştir. Söz konusu karar, çocuğun bu deneyiminden tecrübe edindiği ve kendini disipline ederek, gelecekte kötü davranışlarını tekrarları tekrarlamaması beklenisiyle verilmiştir. Çocuğun kötü davranışları tekrarlamaması için dikkat edilmesi tavsiye edilir.

書式 12 証人召喚状

平成	年少第	号	証人召喚状
証人			殿
上記少年に対する 保護事件について、あなたを証人としてお尋ねします。			少年
すから、来る	月	日	午前 午後
てください。			
平成	年	月	日
家庭裁判所			
裁判官			

注 1 出頭の際は、印鑑を持参し、この召喚状を差し出してください。出頭したときは、旅費、日当を請求することができます。

2 正当な理由がないのに出頭しないときは、勾引されたり、科料又は罰金、もしくは拘留に処せられたりすることがあります。

Tarih: Y11 (Sho) Sayı:

TANIK MAHKEME CELBİ

Tamil Sayin:

Çocuğun
Adı-Soyadı: _____

Yukarıda adı yazılı çocuk ile ilgili, _____ gözetim davası ile ilgili, sizin tanık olarak sorulanmanız için _____ ay
____ günü, sabah/ öğleden sonra saat: ____ 'de, _____ bulunanızı rica ederiz.
ilgili mahkemenin Çocuk Mahkeme Salonunda (___. Kat) hazır

Tarih Yıl Ay Gün

AİLE MAHKEMESİ

Yargic:

Uyarı! 1. Belirtilen tarihte mührünüzü de yanınızda bulundurunuz ve bu celp belgesini mahkemeye teslim ediniz.
Seyahat giderleri ve günlük ödenek talep etme hakkınız vardır.
2. Geçerli bir mazeret olmaksızın, hazır bulummamanız durumunda, tutulup getirilmeniz, hafif para cezası, para cezası ya da gözaltı cezası verilmesi söz konusu olacaktır.

書式 13 証人等整理票

家庭裁判所

証人等整理票				平成 年月日		
氏名	印	事件番号	平成 年少第 号	年号を○で囲んでください。	事件名	少年氏名
年齢	昭和 大正 明治 年 月	日生(年)				
職業						
住居						
旅費日当	いづれかを○で囲んでください。 請求する	請求しない		該当するものを○で囲んでください。	備考	該当するものを○で囲んでください。 証人 参考人 通訳人 鑑定人 その他()

- (注) 1 出頭された方は、この整理票に記入の上、係事務官に提出してください。
 2 この整理票は、旅費日当請求書の資料あるいは旅費日当の放棄書として使用しますので、正確に記入してください。

Form 13 Tanık Kartı

TANIK KARTI			Tarih: _____ Yıl_Ay_Gün	
Adı-Soyadı	(Mühürlü)	Olay No.	Tarih:	Yıl (Sho) Sayı:
Yaşı	Doğum Tarihi: Yıl Ay Gün (Yaş)	Olay Adı		
Meslegi		Çocuğun Adı-Soyadı	(Daire içine alarak uygun olamı işaretleyiniz.)	
İkametgâh Adresi			Tanık	Danışman
Seyahat giderleri, Günlük Ödenek	Seçiminizi daire içine alarak belirtiniz. Seyahat ediyorum. Talep etmiyorum.	(Açıklamalar)	Tercüman	Bilirkişi
			Bunların Dışında ()	

(Uyarı!) 1. Bu Tanık Kartı'nı doldurarak, ilgili memura teslim ediniz.

2. Bu Tanık Kartı, Seyahat Giderleri-Günlük Ödenek Talep Belgesi ya da Seyahat Giderleri-Günlük Ödenek Talep Ferragat Belgesi olarak kullanılacağından, doğru ve okunur şekilde doldurunuz.

書式 14 宣誓書

宣誓書

良心に従つて、ほんとうのこととを申します。
し
知つていることとをかくしたり、無いことを
もゝ
申したりなど、決して致しません。

以上のおおり誓います。

しょうにん
証人

Yemin Belgesi

Vicdanıma uyarak, gerçekleri söyleyeceğimi beyan ederim. Bildiğimi saklamak, olmamayı söylemek gibi eylemleri asla yapmayacağım. Burada yazılınlara uyacağıma yemin ederim.

Tanık

書式 15 通報の要請に関する照会

通報の要請に関する照会

あなたは、国民として領事関係に關する
するウィーン条約第 36 項第 1 項（b）の規定に基づき、拘禁された事実を
の領事機関に通報することを要請することができます。

要請するかどうかを回答書に記入してください。

なお、当該領事機関に対しては、我が国の法令に反しない限り、信書を発
することができます。

裁 判 所

回 答

通報することを 要請します。
 要請しません。

年 月 日

国 名

被拘禁者氏名

裁判所 御中

(注) 不用の文字を抹消すること。

Form 15 Bildirim Talebi Hakkında Cevap Formu

Bildirim Talebi Cevap Formu

Siz, devletinin vatandaşı olarak konsolosluk ilişkileri hakkındaki Viyana Antlaşmasının 36.Madde 1. Fıkrası (b) hükümlerine uygun olarak, alikonulmakta olduğunuz gerçeğini Konsolosluk makamına bildirilmesini talep edebilirsiniz.

Bildirim talebi hakkındaki cevabınızı forma yazınız.

Yine, konsolosluk makamına, Japonya'nın kanunlarına aykırı olmamak şartıyla mektup gönderebilirsiniz.

Mahkemesi

CEVAP

Konsolosluk makamına bildirim yapılmasını istiyorum.
 yapılmasını istemiyorum.

Tarih: Yıl Ay Gün

Ülke Adı:

Alikonulan Kişinin Adı-Soyadı:

Mahkemesi'ne

(Uyarı!) Gereksiz cümlenin üzerini çiziniz.

第4編 用語の対訳

第1 法律関係用語

[あ行]	[あ行]
アリバイ	suç işlendiği sırada başka yerde olduğunu kanıtlama; suçsuzluk delili; mazeret
異議審	itiraz davası
異議申立て	itiraz başvurusu
意見聴取	tahkikat; soruşturma
意見陳述	görüş beyanı; fikir ifade etme; fikir beyan etme
移送	nakletme; taşıma
移送決定	nakil emri; taşıma emri
一時停止	prosedürün geçici olarak durdurulması
一事不再理の効力	mahkeme kararının kesinleşmesi durumunda, aynı olayla ilgili tekrar dava açamama ilkesi; non bis in idem ilkesi
一般事件	genel vaka; genel olay
一般遵守事項	(ilgili kişilerin) kanunen uyuması zorunlu tutulan genel konular
一般短期処遇	genel kısa dönem psikolojik tedavi
一般保護観察	genel denetimli serbestlik
一般保護事件	genel gözetim davası
居直り強盗	fark edilmesi üzerine birdenbire saldıran veya şiddetle tehdit eden hırsız; soyguna dönüşen hırsızlık olayı
違法収集証拠	kanuna aykırı olarak elde edilen delil
違法性	kanuna muhalefet; hukuka aykırılık
違法性阻却事由	hukuka aykırılık teşkil eden bir fiilin meşru olmasını sağlayan sebep
院外委嘱指導	kurum dışından görevlendirilen kişi tarafından rehberlik
因果関係	sebep-sonuç ilişkisi; nedensellik
淫行	gayrimeşru cinsel eylemler
引致	tutuklama emri, mahkeme celbi vs. ile şüpheli, sanık veya tanığı polis karakolu, mahkeme salonu vb. kanuni mercilere zorla götürme şüpheli, sanık veya tanığı polis karakolu, mahkeme salonu vb. kanuni mercilere zorla götürmesi için müzakkere
引致状	içine alma (nefes, su vb.)
インテーク	içine alma kriteri
インテーク基準	kâr amacı; suç fiilinden kâr etme amacı
営利の目的	denetleme, inceleme, gözden geçirme; dikkatle
閲覧	

援助	okuma
押印	yardım; destek
押収	mühür; damga
押収物	müsadere; haciz; el koyma; zapt; müsadere edilmiş mallar; haciz konulmuş mallar
[か行]	[か行]
蓋然的心証	muhtemel izlenim
回避	kaçınma; yargılamadan kaçma
回付	yollama; gönderme
開放的な処遇	serbest ortamda tedavi; kişinin talebine karşı gece dışındaki zamanlarda giriş çıkışın mümkün olduğu tedavi
確信の程度の心証	mantıken kesin olarak kabul edilebilecek düzeydeki izlenim
確信犯	aşırı ve ölçüsüz inanç, radikal düşünceye dayanan suç (dini inanç, siyasi görüş veya ideoloji gibi)
覚せい剤	uyarıcı madde; stimulan; kanunen yasaklanmış, geçici olarak farkındalık ve uyanıklığı artıran ilaçlar ya da maddeler; fenil aminopropan, fenil metil aminopropan veya bunların kimyasal turevleri
過失	ihmal; kusur; dikkatsizlik
過失犯	ihmal suçu; ihmali suçu işleyen kişi
過剰避難	mevcut tehlikeden haklarını korumak için elde olmadan yapılan haddinden fazla acil sığınma hareketi
過剰防衛	olması yakın bir haksız tecavüzen kendini veya başkalarının haklarını savunmak için haddinden fazla yapılan meşru müdafaa
学校照会	okul araştırması
学校照会書	okul araştırma yazısı
仮釈放	şartlı tahliye; şartlı serbest bırakma
仮収容	geçici tutuklama; geçici alkoyma
仮退院	çocuk ıslahevinden şartlı serbest bırakma; şartlı tahliye
簡易送致	davanın usul mahkemesine sevki
簡易の呼出	usulü mahkeme celbi
管轄	yargı salâhiyeti, yargı yetkisi
環境調整	ortamın ayarlanması
環境調整の措置	ortamın ayarlanması ile ilgili tedbirler

環境調整命令 勸告	ortamın ayarlanması ile ilgili emirler tavsiye; öneri; idari kurumlarca referans olarak sunulan görüş (hukuki açıdan yaptırımı olmasa da, belli bir düzeyde zorlama gücüne sahiptir) koruyucu gözaltı tedbiri
観護措置 観護措置決定	koruyucu gözaltı tedbir kararı
観護令状	koruyucu gözaltı emir belgesi
観察	nezaret; gözetim
鑑定	bilirkişi beyanı; uzman görüşü; uzman raporu
鑑定人	bilirkişi; uzman
鑑定留置	uzman incelemesi/değerlendirmesi için gözaltına alma
還付	haczedilen mal vs.nin geri iadesi
鑑別結果	inceleme/değerlendirme sonucu
鑑別結果通知書	inceleme/değerlendirme sonuç bildirimi
期間	süre; dönem
棄却	reddetme; kabul etmeme; geri çevirme
危険性の予測	risk tahmini; reşit olamayan bir kişinin gelecekte işlemesi olası suç için tahmin
期日	tarih; duruşma tarihi
既遂	suçun tamamlanmış olması; suçu oluşturan şartların tamamının gerçekleşmiş olması
偽造	sahtekârlık, kalpazanlık
既判力	kesin hüküm etkisi; olayla ilgili kesinleşmiş bir hükmeye varılmış olması durumunda, kişilerin ya da mahkemenin hükmeye yönelik itirazını, iddiada bulunmasını veya dava açmasını engelleyen yaptırım gücü; res judicata
忌避	itiraz; ret; reddi hâkim; adaletsiz yargılama ihtimaline karşı başvuru üzerine hâkimin veya kâtibin görevden alınması
却下	reddetme; kabul etmeme
凶悪犯	ağır suç; ağır suçlu; cezai suç türü olup, cinayet, gasp, kundaklama ve tecavüzü kapsar ve yine bu tür suçları işlemiş kişi
教科教育	derslere dayalı eğitim
教科指導	derslere rehberlik etme
凶器	silâh, kişiyi öldürmek/yaralamak için kullanılan araç
教唆	suç vb.ne teşvik, tahrik etme; azmettirme; kıskırtma
矯正教育	ıslah eğitimi
強制送還	sınır dışı etme; zorla ülkesine iade

強制退去	(yabancıların) sınır dışı etme; zorla sınır dışına çıkartma
強制調査	(yabancıların)
強制的措置	zorunlu soruşturma; cebri tahkikat
強制的措置許可決定	zorunlu tedbirler
強制的措置不許可決定	zorunlu tedbirler için izin kararı
共犯	zorunlu tedbirler için izin vermemek kararı
共犯者	suç ortaklıĞı; suça iştirak
共謀	suç ortaklıĞı; faili müsterek; ortak fail
協力	komplot; hile; entrika; gizli ittifak
居所	işbirliği; yardımcı olma
緊急同行状	ikametgâh; bulunduğu veya olduğu yer (bir kişinin)
緊急避難	acil refakat emri; reşit olmayan kişinin mahkemeye acil getirilmesine yönelik yazılı emir
禁制品	acil sığınma; olması yakın ve muhakkak bir tehlikeden kaçmak için yapılan sığınma
国親	yasaklanmış mallar; ithal veya ihracı kanunen yasak olan mallar
国親思想	devlet baba; devletin, kendi ebeveyni tarafından bakım ve eğitim sağlanmayan çocuğa, ebeveyninin yerine geçerek velayet etmesi
ぐ犯	devlet baba; devletin, kendi ebeveyni tarafından bakım ve eğitim sağlanmayan çocuğa, ebeveyninin yerine geçerek velayet etmesi
ぐ犯事由	suç işleme olasılığı bulunan suç işleme olasılığı ile ilgili sebepler; kanunca öngörülen belirli kötü davranışlar
ぐ犯少年	suç işleme olasılığı bulunan çocuk
ぐ犯性	suç işleme eğilimi
訓戒	ögüt; ihtar
刑事事件	ceza vakası
刑事施設	ceza infaz tesisleri
刑事処分相当	cezai işleme uygunluk; reşit olmayan kişilerin idam, hapis ya da hücre cezası gerektiren suçları işlemesi halinde, yapılan inceleme sonucu reşit kişilerle aynı şekilde cezai yargılama uygunluğuna karar verilmesi
刑事责任年齢	cezai sorumluluk yaşı; cezai sorumluluk talebinin mümkün ve uygun olduğu yaş (ceza kanununda 14 yaşını doldurmuş kişi şeklinde belirtilmiştir)

軽微事件	basit suç
刑法犯	ceza kanununa tabii suçlar
決定	karar; hükm; emir
決定書	karar belgesi; hükm belgesi; emir belgesi
決定書の送達	karar belgesi; hükm belgesi; emir belgesi
決定の執行	kararın uygulanması; hükmün uygulanması; emrin uygulanması
決定の通知	kararın tebliğatı; hükmün tebliğatı; emrin tebliğatı
検察官関与決定	savcının müdahale olduğu karar
検察官送致決定	savcılığa sevk kararı
検証	denetleme; murakabe
故意	kasıt; niyet; maksat; kötü niyet
合議体	üç veya beş yargıçtan oluşan ve oy çoğunuğu ile karara varılan mahkeme
公共の福祉	kamu refahı
拘禁	tutuklama; alıkoyma; gözaltına alma
後見人	veli, vasi
抗告	temyiz
抗告受理決定	temyiz işlemlerinin kabul kararı
抗告受理の申立て	temyiz kabul talebi (savcı tarafından)
抗告審	temyiz mahkemesi
抗告の趣意	temyiz gerekçesi
抗告の申立て	temyiz talebi (çocuk, velisi veya temsilcisi tarafından)
抗告の申立書	temyiz talep dileğesi (çocuk, velisi veya temsilcisi tarafından)
抗告不受理決定	temyiz işlemlerinin reddetme kararı
更新	yenileme
更新決定	yenileme kararı
更生	ıslah
更正	tashih; düzeltme
更正決定	tashih kararı
公訴	dava
公訴の提起	dava açılması
交通事件	trafik ihlâl olayı
交通切符	trafik ceza makbuzu
交通切符制度	trafik ceza makbuz sistemi
交通短期保護観察	trafik ihlali kısa dönem koruyucu gözetim
交通反則通告制度	trafik ihlâli bildirim sistemi
交通保護観察	trafik ihlali koruyucu gözetim
勾留	gözetim; engelleme; alıkoyma
勾留状	gözaltı emri

勾留に代わる観護措置	gözaltı alternatif olarak koruyucu gözaltı tedbiri
勾留理由開示	gözaltı gerekçesinin açıklanması
国籍	uyruk; milliyet; vatandaşlık; tabiiyet
国選付添人	devlet tarafından atanınan refakatçi kişi
国選弁護人	Devlet tarafından atanınan avukat
告知	tebliğ; bildirme; bilgilendirme
告知調書	bilgilendirme rapor kayıtları
国法上の裁判所	devlet kanunlarında mahkeme
国家賠償	devlet tazminatı
個別処遇の原則	bireysel tedavi ilkesi
〔さ行〕	
在院者	kurumda alıkonan kimse
再抗告	temyiz tekrarı
再審	yeniden yargılama
在宅鑑別	evde gözetim
裁判官の回避	reddi hakim
裁判権	yargılama yetkisi
裁判長	baş yargıç
酒酔い	sarhoşluk
差戻し	geri gönderme; iade etme
差戻後の審判	iade sonrası yargılama
参考人	sorgulamaya tabi tutulan mağdur, tanık vb. gibi suç ile ilgili kişi
事案軽微	küçük olaylar
死刑	idam, ölüm cezası
試験観察	deneme amaçlı gözetim
試験観察決定	deneme amaçlı gözetim kararı
事件記録	olay kayıtları
事件の再起	olayın tekrarlaması
事件の調査	olayın soruşturulması
事後審	karar sonrası inceleme
事実審理の結果	olayın asıl sebepleriyle ilgili olay hukuki inceleme sonucu
自首	teslim olmak
施設送致申請	kuruma sevk talebi
施設送致申請事件	kuruma sevk talep edilen olay
私選付添人	kişice atanmış refakatçi kişi
執行	infaz; icra
執行機関	infaz kurumu; yürütme organı
執行指揮	infaz emri
執行指揮書	infaz emir belgesi

執行のための同行状	infazın uygulanması için refakat emri
執行の停止	infazın tecili, infazın durdurulması
指導監督	rehberlik ve gözetim
児童自立支援施設送致決定	çocuk bağımsızlık destek tesinine sevk kararı
児童相談所長への送致決定	çocuk danışma kurum başkanlığına sevk kararı
児童養護施設送致決定	çocuk koruma kurumuna sevk kararı
自白	itiraf etme
司法	yargı, adalet
司法的機能	yargı fonksiyonları
社会記録	sosyal kayıtlar
社会貢献活動	toplumsal hizmet faaliyetleri
社会資源	sosyal kaynaklar
社会適応性	sosyal uyum sağlayıcı bilirlik
社会生活	sosyal yaşam
社会内処遇	sosyal yaşam içinde iyileştirme, kurumda alikoymaksızın toplum içinde iyileştirme
社会調査	sosyal araştırma
社会防衛	toplumu koruma
社会防衛思想	toplumu koruma düşüncesi
終局処分	nihai karar
住居	ikametgah adresi
住所	adres
自由心証主義	delillerin serbestçe değerlendirilmesi ilkesi; inanç özgürlüğü ilkesi
重大な事実誤認	olayın asıl sebepleriyle ilgili olay hukuki incelemeye ağır maddi hata
集団講習	toplu eğitim programı
集団処遇	grup tedavisi
収容区分	gözaltı sınıflandırması
収容継続	alikoymayanın sürdürülmesi
収容継続決定	alikoymayanın sürdürülmesi kararı
収容継続申請	alikoymayanın sürdürülmesi talebi
収容継続申請事件	alikoymayanın sürdürülmesi talebi olan olay
受命裁判官	görevlendirilmiş yargıç
準抗告	yarı itiraz
遵守事項	kanunen uyulması zorunlu tutulan konular
遵守事項違反	kanunen uyulması zorunlu tutulan konuların ihlali
準少年保護事件	yarı çocuk gözetim davası
証言	tanıklık etme
証拠	kanıt, delil
証拠調べ	delillerin incelenmesi
証拠法則	delil kuralları

小倉制	küçük yerleşke sistemi
証人	tanık; şahit
証人尋問	tanığı sorgulama
証人尋問権	tanığı sorgulanma yetkisi
証人等の費用	tanık ve diğer kişiler için giderler
少年	çocuk; henüz 20 yaşını doldurmamış reşit olmayan kişi
少年院送致	çocuk ıslah evine sevk
少年院送致決定	çocuk ıslah evine sevk kararı
少年鑑別所収容の一時継続	çocuk gözetim evinde alıkoymanın geçici olarak sürdürülmesi
少年審判	çocuk yargılaması
少年審判手続	çocuk yargılama işlemleri
少年調査記録	çocuk araştırma kayıtları
少年調査票	çocuk araştırma raporu
少年の刑事事件	çocuk cezai vakası
少年の健全な育成	çocuğun sağlıklı yetişmesi
少年の保護事件	çocuk gözetim davası
少年非行	çocuğun uygunsuz davranışları
少年保護事件	çocuk gözetim davası
少年補償	çocuk tazminatı
少年補償事件	çocuk tazminat davası
抄本	kısmi suret, özet
証明書	sertifika
処遇勧告	tedavi tavsiyesi
職業指導	mesleki rehberlik
職業補導	mesleki eğitim ve rehberlik
職權主義	yargılama yetki ilkesi
職權主義的審問構造	yargılama yetki ilkesi dahilindeki araştırma sorgulama yapısı
触法少年	ceza kanunu veya mevzuatını ihlal etmiş olan 14 yaşından küçük çocuk
所在不明	bulunduğu yer bilinmeyen; kayıp
除斥	hakim, kâtip vb.nin âdil muamelede bulunmayacağına dair kabul edilir bir sebep olması durumunda ehliyetin düşürülmesi
処断刑	yargıcıın takdir yetkisini kullanarak verdiği ceza işlemin dikkate değer düzeyde eğitici ölçütlerde uygunsuz olması
処分の著しい不当	velâyet hakkı
親権	velâyet hakkının kullanımı
親権行使	velâyet haklarına saygı
親権尊重	insan haklarına saygı
人権尊重	

人権保護	insan haklarının korunması
人権保障	insan haklarının korunmak
身上調査表	kişisel ilişkiler soruşturma raporu; sınıflandırma özeti
心身鑑別	psikolojik ve bedeni sınıflandırma
身体の自由の拘束	fiziki özgürlüğü kısıtlama
人定質問	kimlik tespiti için soru sorma
審判	yargılama
審判開始決定	yargılama başlatma kararı
審判権	yargılama yetkisi
審判不開始決定	yargılama başlatmama kararı
審判期日	yargılama tarihi
審判期日通知書	yargılama tarihi bildirim belgesi
審判結果通知	yargılama sonuç bildirimi
審判条件	yargılama koşulları
審判状況説明	yargılama durum açıklaması
審判調書	yargılama raporu
審判廷	yargılama salonu
審判に付すべき少年	yargılama yapılması gereken çocuk
審判の併合	ayrı yargılamaların birleştirilmesi
審判非公開	yargılamanın kapalı usul yürütülmesi
審判傍聴	yargılamayı izlemek
性格の矯正	karakterin düzeltilmesi
生活指導	yaşam tarzına rehberlik
成人	yetişkin; 20 yaşını doldurmuş kişi
正当防衛	meşru müdafaa, nefsi müdafaa
正本	asıyla aynı suret; mahkeme kararının orijinalini temel alarak mahkeme kâtibinin hazırladığı, orijinaliyle aynı geçerliliğe sahip olan karar belgesi
責任	sorumluluk
責任能力	cezaî ehliyet; cezai yeterlik
接見交通権	görüşme ve ziyaret hakkı
接見の禁止	görüşme ve ziyaretin yasaklanması; görüş yasağı
接見の制限	görüşme ve ziyaretin sınırlanılması
宣誓	yemin
専門的知識の活用	uzmanlık bilgilerinden yararlanma
全件送致主義	adli polis memurları ya da savcıların tüm çocuk davalarını aile mahkemesine göndermesi ilkesi araştırma; soruşturma; tahkikat; tetkik soruşturma teşkilatı
捜査	arama
捜査機関	
搜索	

送致	sevk
訴訟法上の裁判所	yargılama kanunlarında mahkeme
粗暴犯	şiddet suçları
損害	zarar
損害賠償	zarar tazminatı
[た行]	
体育指導	bedensel eğitim rehberliği
退院	serbest bırakma; tahliye etme
逮捕	tutuklama; yakalama; tevkif
知事への送致決定	olayın bölge valiliğine sevk kararı
中間少年	orta yaş grubu (16, 17 yaş) çocuk
長期の処遇	uzun süreli iyileştirme programı
調査	soruşturma; araştırma
調査官	aile mahkemesi denetimli serbestlik görevlisi
調査命令	soruşturma emri; araştırma emri
調査報告書	soruşturma raporu; inceleme raporu
直送事件	doğrudan aile mahkemesine intikal ettirilen olay
陳述録取書	ifade tutanağı
陳述録取調書	ifade tutanağı
通行禁止	geçme yasağı
通行区分	trafik ayrimı
通告	bildirim; rapor; bilgilendirme
通訳	tercümanlık
通訳人	tercüman; çevirmen
付添人	refakatçı
付添人の選任	refakatçı kişinin seçimi
連戻し	kaçağın geri getirilmesi
連戻状	kaçağın geri getirilmesi emri
適正手続	uygun hukuki süreç; uygun hukuki işlemler
伝聞証拠	başkasından işitilen hususların beyanından ibaret olan delil
伝聞法則	başkasından işitilen hususların beyanından ibaret olan delillerin, delil ehliyetini tanımama prensibi
同行	eşlik etme; refakat etme; çocuğu mahkemeye götürme
同行状	mahkeme celbi; çocuğu mahkemeye getirme emri
動向視察	eğitici tedbir altındaki çocuğu ilgilendiren koşulların denetimi
謄写	suret; kopya

謄本	orijinalin bire bir kopyası; tasdikli suret
道路交通事件	yol ve trafik kanunlarının ihlâl olayı
特別活動指導	özel etkinlik rehberliği
特別遵守事項	kanunen uyulması zorunlu tutulan özel konular
特別法犯	özel kanun ihlali
[な行]	[な行]
任意調査	İhtiyarî soruşturmayaya onay; kişinin soruşturmayaya kendi arzusıyla onay vermesi
任意同行	ihtiyarî karakol vs.ye gitme; kendi isteği ile karakol vs.ye gitme
年少少年	genç ergenler; düşük yaş grubu çocuk (14, 15 yaş)
年長少年	yaşlı ergenler; yüksek yaş grubu çocuk (18, 19 yaş)
年齢超過	yaş fazlalığı
[は行]	[は行]
犯罪	suç; cürüm
犯罪少年	suçlu çocuk; suç işlemiş çocuk
犯罪の嫌疑	suç şüphesi
反対尋問	çapraz sorgulama; karşı tarafın şahidine soru sorma
反対尋問権	çapraz sorgulama hakkı; karşı tarafın şahidine soru sorma hakkı
被害者	mağdur; zarar gören kişi
被害者調査	mağdurun dinlenmesi
非行	uygunsuz davranış; kabahat
非行事実	uygunsuz davranış olay içeriği
非行事実存在の蓋然性	uygunsuz davranış mevcudiyetinin varlığı
非行事実の告知	uygunsuz davranış olay içeriği tebliğî
非行事実の認否	uygunsuz davranış olay içeriğinin onayı veya reddi
非行性	uygunsuz davranışını tekrarlamak eğilimi
非行なし	uygunsuz davranışın olmaması; çocuğun suç işlememiş olmama
非常上告	olağanüstü itiraz
否認	inkâr, reddetme
否認事件	inkâr edilen olay
秘密性	gizli olma
不告不理の原則	savcı tarafından suçlama yapılmaması durumunda, mahkemenin yargılama yapamama ilkesi

不処分	işlevsizlik; geçerli olmayan
不処分決定	işlevsizlik kararı
不定期刑	Süresi Belirsiz Ceza
不服申立て	itiraz başvurusu
不利益変更禁止	temyiz mahkemesinin sanığa alt mahkemeden daha aleyhte bir mahkeme yapılmasını yasaklaması
分類処遇	sınıflandırma tedavisi
併合審判	birleşik yargılama
弁解	mazeret
弁解の聴取	mazeretinin dinlenmesi
変更の申出	değişiklik talebi
弁護士	avukat
弁護人	savunma avukatı; müdafî
保安処分	güvenlik önlemleri
報告	rapor
法廷遵守事項	mahkemede kanunen uyulması zorunlu tutulan konular; kurallar
法定代理人	kanuni vekil; temsilci
法的調査	adli soruşturma
法律記録	kanuni kayıtlar
保護観察	koruyucu gözetim
保護者	veli; sorumlu kişi
保護処分	koruyucu gözetim işlemi
保護処分取消決定	koruyucu gözetim kararının iptal kararı tebliği
保護処分取消事件	koruyucu gözetim kararının iptal kararı tebliği
保護処分の競合	koruyucu gözetim işlem kararında uyuşmazlık
保護処分の取消し	koruyucu gözetim kararının iptali
教育的措置(保護的措置)	eğitimsel tedbir (koruma tedbiri)
没取	haciz; bir eşyanın sahiplik hakkının düşürülerek devlet hazinesine alınması
没取決定	haciz kararı
没取に係る物の返付	hacze alınmış malların geri iadesi
補充捜査	ek soruşturma
補償の払渡し	tazminatın ödenmesi
補導委託	koruma ve rehberlik görevinin devri
補導委託先	koruma ve rehberlik görevinin devredildiği yer
補導委託費	koruma ve rehberlik görevinin devir masrafları
補導援護	koruma ve rehberlik desteği
本籍照会	nüfus kütük sorgulaması
本籍照会書	nüfus kütük sorgulama belgesi
翻訳	çeviri; tercüme
翻訳人	çevirmen

[ま行]
身柄付送致

みなし勾留
無職の者
無断外出
面前告知
申出
申出人
黙秘権
黙秘権の告知
戻し収容
戻し収容決定
戻し収容処分
戻し収容申請事件

[ま行]
çocuğun davasını ve şahsını aile mahkemesine
sevk
gözetim altında sayılma
İşsiz kişi
izinsiz dışarı çıkmak
kişinin yüzüne karşı tebliğ
başvuru
başvuru sahibi
susma hakkı
susma hakkının tebliği
tekrar alikonulma
tekrar alikonulma kararı
tekrar alikonulma işlemi
kuruma tekrar alikonulma talep edilen olay

[や行]
有職の者
有責性
要保護性
余罪
余罪捜査
呼出
呼出状

[や行]
iş sahibi kişi
suçluluk
koruma gerekliliği
ek suçlar
ek suç soruşturması
celp; çağrı
celp emri

[ら行]
留置施設
労役場留置

[ら行]
nezarethane; tutukevi
angarya tutukevi; para cezasını
ödeyemeyenlerin, ceza bedelini ödemesi için
ücretsiz çalıştırılarak tutukevinde tutma

第2 調査関係用語

[あ行]

家出
居心地
遺伝
姻族

[あ行]

evi terk etme; evden kaçma
rahatlık
genetik; ırsiyet; soyaçekim
akrabalık bağı

[か行]

カウンセリング
家族関係
家長
家庭内暴力
義務教育
虐待
血族
高等学校(高校)
行動傾向
公立
危険ドラッグ(脱法ハーブ)

[か行]

danışmanlık
aile ilişkileri
aile reisi
aile içi şiddet
zorunlu eğitim
istismar; kötü muamele
kan bağı
lise
davranışsal eğilim
kamu
tehlikeli uyuşturucu (sentetik esrar)

[さ行]

しつけ
社会奉仕活動
照会書
小学校
上司
職種
私立
信条
親族
心理テスト
住込み
生活史
生活費

成績
性的虐待
生理
専門学校
送金
相談相手

[さ行]

disiplin; terbiye etme
toplum hizmet faaliyeti
sorgulama belgesi
ilkokul
daha yüksek rütbeli kişi; idareci; amir
iş türü
özel
inanç
akraba; yakın; hisım; aile üyesi
psikolojik test
yaşama
hayat geçmişi; yaşam öyküsü
geçim masrafları; yaşamı idame ettirmek için
giderler
kayıt; performans
cinsel istismar
fizyoloji; regl
meslek okulu
havale; para gönderme
danışman; akıl hocası

[た行]	[た行]
退学	eğitimi bırakma; okulu bırakma
大学	üniversite
怠休	okuldan kaçma; dersi asma; okulu asma
短所	kusur (karakter); karakterin zayıf noktası
中学校	ortaokul
長所	erdem; meziyet; karakterin güçlü noktası
通勤	işe gidiş-geliş; ev ve iş yeri arasında yolculuk yapma eylemi
手続	süreç; işlem
手取り	net gelir; ele geçen para
転居	adres değişikliği
転校	okul değişikliği
転職	iş değişikliği
動機	kasıt; amaç; maksat
同棲	birlikte yaşama
同僚	meslektaş; iş arkadaşı
特技	özel yetenek
[な行]	[な行]
仲	ilgi;
肉体関係	cinsel ilişki; cinsi münasebet
入学	okula başlama
[は行]	[は行]
配偶者	eş; karı kocadan her biri
背景	öncesi; arka plan; evveliyat
壳春	fuhuş
父系	baba tarafından akrabalık bağlantısı
不純異性交遊	rasgele cinsel ilişkide bulunma; önüne gelenle yatma
扶養	geçindirme; bakım; destek;
扶養家族	bakmakla yükümlü olunan aile
保育所	kreş
母系	anne tarafından akrabalık bağlantısı
[ま行]	[ま行]
身元引受人	garantör; kefil
面接	görüşme; ziyaret
[や行]	[や行]
役割	rol; görev; vazife
幼少	Süt çocukluğu dönemi; bebeklik dönemi;

幼稚園

çocukluk dönemi
anaokulu

[ら行]

離婚

労働条件

[ら行]

boşanma; eşinden ayrılma

çalışma şartları; iş şartları

第3 官庁等諸機関名

[あ行]	[あ行]
医務室	sağlık ofisi
医務室技官	sağlık ofisi tıbbi görevlisi
受付	resepsiyon; danışma
[か行]	[か行]
海上保安庁	Sahil Güvenlik Komutanlığı
外務省	Dışişleri Bakanlığı
科学調査室	Bilimsel Araştırma Ofisi
家庭裁判所	Aile Mahkemesi
家庭裁判所支部	Aile Mahkemesi Şubesi
家庭裁判所調査官(調査官)	Aile Mahkemesi Denetimli Serbestlik Görevlisi (Denetimli Serbestlik Görevlisi)
家庭裁判所調査官室	Aile Mahkemesi Denetimli Serbestlik Görevlisi Ofisi
簡易裁判所	Usul Mahkemesi; basit davalara bakan, kısıtlı yetkilere sahip mahkeme
矯正管区	İslah Kurumu Bölge Genel Merkezi
矯正管区長	İslah Kurumu Bölge Genel Merkez Müdürü
矯正局	İslah Kurumu Bürosu
区	semt; bölge; mahalle
区検察庁	Mahallî Savcılık
警察	polis
警察官	polis memuru
警察署	Polis Karakolu
警察職員	polis personeli
警察署の保護室	Polis Karakolu Koruma Odası
警察庁	Emniyet Genel Müdürlüğü
警察庁次長	Emniyet Genel Müdür Yardımcısı
警察庁長官	Emniyet Genel Müdür
警視	Başkomiser
警視監	Vilayet Emniyet Genel Müdürü
警視正	Emniyet Şube Amiri
警視総監	Merkez Emniyet Müdürü
警視庁	Metropol Emniyet Müdürlüğü
警視長	Emniyet Şube Müdürü
警部	Komiser
警部補	Komiser Yardımcısı
刑務官	Cezaevi Memuru
刑務所	Cezaevi
刑務所長	Cezaevi Müdürü

県	Vilayet; İl
県警察本部	Vilayet Emniyet Genel Müdürlüğü
検察	Savcılık
検察官	Savcı
検察事務官	Savcılık Memuru
検察庁	Savcılık
検事	Savcı
検事正	Baş Savcı
検事総長	Savcılar Yüksek Kurulu Başsavcısı
検事長	Yüksek Savcılık Başsavcısı
公使	Bakan
厚生労働省	Sağlık, Sosyal Yardım ve Çalışma Bakanlığı
更正保護会	İslah Koruma Derneği
更正保護婦人会	İslah Koruma Kadın Derneği
拘置所	Nezarethane
高等検察庁	Yüksek Savcılık
高等裁判所	Yüksek Mahkeme
高等裁判所長官	Yüksek Mahkeme Başkanı
[さ行]	
最高検察庁	Savcılar Yüksek Kurulu
最高裁判所	Yargıtay; Temyiz Mahkemesi; Anayasa Mahkemesi
最高裁判所長官	Yargıtay Başkanı
最高裁判所裁判官	Yargıtay Yargıcı; Yargıtay Hâkimi
裁判官	Yargıcı; Hâkim
裁判所事務官	Mahkeme Memuru
裁判所書記官	Mahkeme Kâtibi
裁判長	Baş Yargıcı
市	ilçe
次長検事	Savcılar Yüksek Kurulu Başsavcısı Yardımcısı
児童委員	çocuk koruma kurumu çalışanı
児童自立支援施設	çocuk bağımsızlık destek tesisi
児童相談所	çocuk danışma kurumu
児童相談所長	çocuk danışma kurum başkanı
児童福祉司	çocuk koruma kurum memuru
児童養護施設	Çocuk Koruma Kurumu
司法警察員	adli polis memuru
司法警察職員	adli polis personeli
司法巡查	adli polis memuru
巡查	polis; polis memuru
巡查長	kıdemli polis
巡查部長	komiser muavini

少年院	çocuk ıslah evi
少年鑑別所	çocuk gözetim evi
少年刑務所	çocuk cezaevi
書記官室	Mahkeme Kâtip Ofisi
人權擁護局	İnsan Haklarını Koruma Bürosu
審判官	yargıcı
審判廷	yargılama salonu; mahkeme salonu
税關	gümrük dairesi
[た行]	
第1種少年院	1. tip çocuk ıslah evi
大使	Büyükelçi
大使館	Büyükelçilik
第3種少年院	3. tip çocuk ıslah evi
第2種少年院	2. tip çocuk ıslah evi
第4種少年院	4. tip çocuk ıslah evi
知事(都道府県知事)	Valilik (idari bölge)
地方検察庁	Bölge Savcılığı
地方検察庁支部	Bölge Savcılığı Şubesi
地方更正保護委員会	Bölge Islah Koruma Komitesi
地方裁判所	Bölge Mahkemesi
地方裁判所支部	Bölge Mahkemesi Şubesi
地方法務局	Bölge Adli İşlemler Dairesi
中央更正保護審査会	Merkez Islah Koruma İnceleme Komisyonu
調査官(家庭裁判所調査官)	Denetimli Serbestlik Görevlisi (Denetimli Serbestlik Görevlisi)
[な行]	
入国管理局	Bölge Göçmen Bürosu
入国管理事務所	Göçmen Bürosu Ofisi
入国管理局出張所	Bölge Göçmen Bürosu Şubesi
入国者収容所	Göçmen Nezarethanesi
[は行]	
判事	yargıcı; hakim
判事補	yargıcı muavini
福祉事務所	Sosyal Yardım Ofisi
法務技官	Adalet Bakanlığı Teknik Memur
法務教官	Adalet Bakanlığı Eğitim Memuru
法務省	Adalet Bakanlığı
保護局	Koruma Bürosu
保護觀察官	koruyucu gözetim memuru
保護觀察所	koruyucu gözetim kurumu

保護觀察所長	koruyucu gözetim kurumu müdürü
保護区	denetimli serbestlik alanı
保護司	gönüllü gözetim memuru
補導委託先	koruma ve rehberlik görevinin verildiği yer
[ら行]	[ら行]
領事	konsolos
領事館	konsolosluk

第4 法令名

[あ行]	[あ行]
あへん法	Afyon Kanunu
安保条約	İşbirliği ve Güvenlik Antlaşması
(日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約)	(Japonya ile ABD Arasındaki Karşılıklı İşbirliği ve Güvenlik Antlaşması)
医師法	Tıbbî Hekimlik Kanunu
意匠法	Tasarımların Korunması Hakkındaki Kanun
医療法	Tıbbî Tedavi Kanunu
ウィーン条約 (領事関係に関するウィーン条約)	Viyana Antlaşması (Konsolosluk ilişkileri hakkındaki Viyana Antlaşması)
恩赦法	Af Kanunu
[か行]	[か行]
外国為替及び外国貿易法	Kamhiyo ve Dış Ticaret Kontrol Kanunu
外国裁判所ノ嘱託ニ因ル共助法	Yabancı Ülke Mahkemelerinin Talebine Cevaben Hukuki Yardım Kanunu
海上交通安全法	Deniz Trafiği Güvenlik Kanunu
海上衝突予防法	Deniz Kazalarını Önleme Kanunu
覚せい剤取締法	Uyarıcı Madde (Stimülan) Kontrol Kanunu
家事事件手続規則	Aile İçi İlişki Kurallarını Belirleyen Kurallar
家事事件手続法	Aile İçi İlişki Kurallarını Belirleyen Kanun
学校教育法	Okul Eğitim Kanunu
割賦販売法	Taksitli Satış Kanunu
火薬類取締法	Yanıcı Kimyasal (Barut vs.) Maddelerin Kontrol Kanunu
関税定率法	Gümrük Tarifesi Kanunu
関税法	Gümrük Kanunu
警察官職務執行法	Polis Vazifesi ve Salahiyetleri Kanunu
警察法	Polis Kanunu
刑事訴訟規則	Ceza Muhakemeleri Nizamnamesi
刑事訴訟費用等に関する法律	Ceza Muhakemeleri Masrafları vs. ile İlgili Kanun
刑事訴訟法	Ceza Muhakemeleri Usulü Kanunu
刑事補償規則	Ceza Tazmin Nizamnamesi; (sonradan masum olduğu belirlenen kişinin alikonulduğu süreye istinaden tazminat talep hakkı ile ilgili nizamname/yönetmelik)
刑事補償法	Ceza Tazminat Kanunu; sonradan masum olduğu belirlenen kişinin uğradığı zararın giderilmesi ile ilgili kanun

競馬法	At Yarışları Kanunu
軽犯罪法	Hafif Suçlar Kanunu
刑法	Ceza Kanunu
検察審査会法	Savcılık Tahkikat Komitesi Kanunu
検察庁法	Savcılık Kanunu
憲法（日本国憲法）	Anayasa (Japon Devlet Anayasası)
公害罪法（人の健康に係る公害犯罪の処罰に関する法律）	Çevre Zararları Kanunu (İnsan Sağlığını Etkileyen Çevreye Zarar Verme Suçlarının Cezalandırılması Hakkındaki Kanun)
航空機の強取等の処罰に関する法律	Uçağın Yasası Zaptı vs.nin Cezalandırılması ile İlgili Kanun
航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律	Uçak Seferini Tehlikeye Sokan Hareketler vs.nin Cezalandırılması ile ilgili Kanun
更生保護法	Suçluların İslah Kanunu
国際捜査共助法	Uluslararası Soruşturma İşbirliği Kanunu
国籍法	Vatandaşlık Kanunu
戸籍法	Nüfus Kütüğü Kanunu
国家賠償法	Devlet Tazminat Kanunu
〔さ行〕	
裁判所法	Mahkeme Kanunu
酒に酔って公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律	Alkollü Kişiye Kamuya Rahatsız Edecek Fiillerin Önlenmesi vs. ile İlgili Kanun
自転車競技法	Bisiklet Yarışları Kanunu
児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律	Çocuk Fahişeliği ve Çocuk Pornografisi ile İlgili Fiillerin Sınırlandırılması ve Cezalandırılması ile Çocukların Korunması vs. ile İlgili Kanun
自動車の運転により人を死傷させる行為等の処罰に関する法律	Araç Kullanımı Nedeniyle Kişinin Ölümüne Sebep Olan Hareketler vs.nin Cezalandırılması ile İlgili Kanun
児童福祉法	Çocuk Koruma Sosyal Yardım Kanunu
銃砲刀剣類所持等取締法	Ateşli Silâhlar ve Bıçaklar Bulundurma Kontrol Kanunu
出入国管理及び難民認定法	Emigrasyon Kontrol ve Mülteci Onay Kanunu
少年院法	Çocuk İslah Evi Kanunu
少年鑑別所法	Çocuk Gözetim Evi Kanunu
少年審判規則	Çocuk Yargılama Nizamnamesi
少年の保護事件に係る補償に関する規則（少年補償規則）	Çocuğun Gözetim Davası ile İlgili Tazminat Hakkında Nizamname (Çocuk Tazminat Nizamnamesi)
少年の保護事件に係る補償に関する法律（少年補償法）	Çocuğun Gözetim Davası ile İlgili Tazminat Hakkında Kanunu (Çocuk Tazminat Kanunu)

少年法	Çocuk Kanunu
商法	Ticaret Kanunu
職業安定法	İş ve İşçi Bulma Kanunu
人身保護法	Kişi Koruma Kanunu (Haksız yakalama veya tevkifi yasaklayan kişilik haklarını koruyan kanun)
新東京国際空港の安全確保に関する緊急措置法	Yeni Tokyo (Narita) Uluslararası Havalimanı Güvenliğini Sağlama ile İlgili Acil Tedbirler Kanunu
森林法	Ormancılık Kanunu
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	Akıllı ve Ruh Sağlığı ile Zihinsel Engellilerin Refahı ile İlgili Kanun
船員法	Gemi Mürettebatı Kanunu
船舶安全法	Gemi Güvenlik Kanunu
船舶職員法	Gemi Mürettebat Kanunu
船舶法	Gemicilik Kanunu
組織犯罪処罰法（組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律）	Organize Suçların Cezalandırılması Kanunu (Organize Suçların Cezalandırılması ve Suç Gelirlerinin Sınırlandırılması ile İlgili Kanun)
[た行]	[た行]
大麻取締法	Esrar Kontrol Kanunu
著作権法	Telif Hakları Kanunu
通貨及証券模造取締法	Para ve Hisse Senedi Sahtecilik Kontrol Kanunu
鉄道営業法	Demiryolları İşletmecilik Kanunu
電気通信事業法	Telekomünikasyon İşletmecilik Kanunu
電波法	Telsiz Telgraf Kanunu
盜犯等ノ防止及処分ニ関スル法律	Hırsızlık veya Soygunculuk vs.yi Önleme ve Cezalandırmayla İlgili Hukuk
逃亡犯罪人引渡法	Kaçak Suçluların İadesi Kanunu
道路運送車両法	Karayolu Taşımacılığı ve Motorlu Taşıtlar Kanunu
道路交通法	Karayolları ve Trafik Kanunu
毒物及び劇物取締法	Zehirli ve Tehlikeli Maddeler Kontrol Kanunu
[な行]	[な行]
日本国憲法	Japon Devlet Anayasası
日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約（安保条約）	Japonya ile ABD Arasındaki Karşılıklı İşbirliği ve Güvenlik Teminatı Antlaşması (Güvenlik Teminatı Antlaşması)
日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約第 6 条に基づく施設及び区	Japonya ile ABD Arasındaki Karşılıklı İşbirliği ve Güvenlik Teminatı Antlaşması'nın 6'ncı

域並びに日本国における合衆国軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法	Maddesini Esas Alan Tesis, Bölge ve Japonya'daki ABD Ordusunun Statüsü ile İlgili Mutabakatın Uygulanmasına Yönelik Özel Cezaî Kanun
日本国における国際連合の軍隊の地位に関する協定の実施に伴う刑事特別法	Japonya'daki Birleşmiş Milletler Ordusunun Konumu ile İlgili Mutabakatın Uygulanmasına Yönelik Özel Cezaî Kanun
[は行]	[は行]
売春防止法	Fuhşiyatı Önleme Kanunu/Fuhşa Teşvikî Önleme Kanunu
破壊活動防止法	Yıkıcı Faaliyetleri Önleme Kanunu
爆発物取締罰則	Patlayıcı Maddeleri Kontrol ve Ceza Kanunu
罰金等臨時措置法	Para Cezası vs. Geçici Tedbir Kanunu
犯罪捜査規範	Cezaî Soruşturma Kuralları
犯罪捜査のための通信傍受に関する法律	Suç Tahkikati İçin Haberleşmenin Dinlenmesi ile İlgili Kanun
犯罪者被害者等給付金支給法	Suçlu, Mağdur vs. tazminat ödenmesi ile ilgili kanun
犯罪被害者等の保護を図るための刑事手続に付随する措置に関する法律	Suç Mağdurlarının Korunması İçin Ceza İşlemlerin Birleştirilme Tedbirleri ile İlgili Kanun
風俗営業等の規則及び業務の適正化等に関する法律	Gayriahlaki İşlerin Düzenlenmesi ve Faaliyetlerin İslahi vs. ile İlgili Kanun
武器等製造法	Silâhlar vs. İmalât Kanunu
法廷等の秩序維持に関する法律	Mahkeme vs.de İntizamın Muhofazası ile İlgili Hukuk
暴力行為等処罰二関スル法律 保護司法	Şiddet Fiilleri vs.yi Cezalandırma ile İlgili Yasa gönüllü gözetim memuru kanunu
[ま行]	[ま行]
麻薬及び向精神薬取締法	Uyuşturucu Maddeler ve Ruhsal Duruma Etki Eden Eczaların Kontrol Kanunu
麻薬及び向精神薬取締法等特例法（国際的な協力の下に規制薬物に係る不正行為を助長する行為等の防止を図るための麻薬及び向精神薬取締法等の特例等に関する法律）	Uyuşturucu Maddeler ve Ruhsal Duruma Etki Eden Eczaların Kontrol Kanunları vs. ile İlgili Özel Kanun (Uluslararası işbirliği çerçevesinde sınırlandırılmış narkotik maddelerle ilgili kanunsuz eylemlere yardıma engel olmak için narkotik maddeler ve ruhsal duruma etki eden eczaların kontrolü kanunu vs. ile ilgili özel hükümler)
未成年者飲酒禁止法	Reşit Olmayan Kişilerin Alkol Kullanımını Yasaklayan Kanun

未成年者喫煙禁止法	Reşit Olmayan Kişilerin Tütün Kullanımını Yasaklayan Kanun
民事訴訟法	Medenî Yargılama Kanunu
民法	Medenî Kanun
〔や行〕	〔や行〕
有線電気通信法	Kablolu İletişim Kanunu
郵便法	Posta Kanunu
〔ら行〕	〔ら行〕
領海及び接続水域に関する法律	Karasuları ve Bitişik Su Alanları ile İlgili Kanun
領事関係に関するヴィーン条約（ヴィーン条約）	Konsolosluk İlişkileri ile İlgili Viyana Antlaşması (Viyana Antlaşması)
旅券法	Pasaport Kanunu
労働基準法	Çalışma Standartları Kanunu

第5 罪名

[あ行]	[あ行]
遺棄罪	Terk Etme Suçu (Çocukları veya kendilerini idareye muktedir olmayan kişileri kendi haline terk etme suçu)
遺棄致死傷罪	Ölümle Sonuçlanan Terk Etme Suçu
遺失物等横領罪	Kayıp Eşya vb.yi Mal Edinme Suçu
威力業務妨害	Zor Kullanarak İş Faaliyetlerini Engelleme
往来危險罪	Araç Trafiğini Tehlikeye Atma Suçu
横領罪	Zimmete Geçirme Suçu
[か行]	[か行]
覚せい剤取締法違反	Uyarıcı Madde (Stimülan) Kontrol Kanunu İhlali
過失傷害罪	İhmal ile Bedenî Zarara Sebebiyet Suçu
過失致死罪	İhmal ile Ölüm Sebebiyet Suçu
過失運転致死傷罪	Dikkatsiz Taşıt Kullanımı Sonucu Ölüm Sebebiyet Suçu
危険運転致死傷罪	Tehlikeli Taşıt Kullanımı Sonucu Ölüm Sebebiyet Suçu
偽証罪	Yemin Altında Yalancı Tanıklık Suçu
偽造外国通貨行使罪	Sahte Yabancı Parayı Kullanma Suçu
偽造通貨行使罪	Sahte Parayı Kullanma Suçu
偽造無印公文書行使罪	Mühürsüz Sahte Resmi Evrak Kullanım Suçu
偽造無印私文書行使罪	Mühürsüz Sahte Özel Evrak Kullanım Suçu
偽造有印公文書行使罪	Mühürlü Sahte Resmî Evrak Kullanım Suçu
偽造有印私文書行使罪	Mühürlü Sahte Özel Evrak Kullanım Suçu
偽造有価証券行使罪	Sahte Menkul Kıymet Kullanım Suçu
器物損壊罪	Mala Zarar Verme Suçu
恐喝罪	Şantaj Suçu
強制わいせつ罪	Zorlamayla Yapılan Müstehcen Fiiller Suçu
強制わいせつ致死傷罪	Ölümle Sonuçlanan Zorlamayla Yapılan Müstehcen Fiiller Suçu
脅迫罪	Tehdit Suçu
業務上横領罪	İş Faaliyetleri Sırasında Zimmete Geçirme Suçu
業務上過失往来危險罪	Görevi İhmal Nedeniyle İş Faaliyetlerinin Akışını Tehlikeye Sokma Suçu
業務上過失傷害罪	Yaralanmayla Sonuçlanan Görevi İhmal Suçu
業務上過失致死罪	Ölümle Sonuçlanan Görevi İhmal Suçu
強要罪	Zorlama Suçu
現住建造物等放火罪	İkamet Edilen Yerleri Kundaklama Suçu

建造物等以外放火罪	Bina, Yapı vs. Dışındaki Yerleri Kundaklama Suçu
建造物等延焼罪	Bina, Yapı vs. Yerlere Yangının Yayılmasına Yardım Suçu
公印偽造罪	Resmî Mühürlerin Sahtesini Yapma Suçu
公印不正使用罪	Resmî Mühürlerin Usulsüz Kullanım Suçu
強姦罪	Zor Kullanarak Irza Geçme Suçu
強姦致死傷罪	Ölümle Sonuçlanan Zor Kullanarak Irza Geçme Suçu
公正証書原本不実記載罪	Resmî Onaylı Orijinal Belgeler Üzerinde Sahte Kayıt Ekleme Suçu
公然わいせつ罪	Alenî Yapılan Müstehcen Suç
強盜強姦罪	Soygun Esnasında Zorla Irza Geçme Suçu
強盜強姦致死傷罪	Ölümle Sonuçlanan Soygun Esnasında Zorla Irza Geçme Suçu
強盜罪	Gasp Suçu
強盜致死罪	Ölümle Sonuçlanan Gasp Suçu
強盜致傷罪	Yaralanmayla Sonuçlanan Gasp Suçu
強盜予備罪	Gaspa Hazırlık Suçu
公用文書毀棄罪	Resmi Belgeleri Tahrip Etme Suçu
公務執行妨害罪	Resmî Görevlerin Yerine Getirilmesine Engel Olma Suçu
昏睡強盜罪	Bilinci Kaybettirerek Gasp Suçu
[さ行]	[さ行]
詐欺罪	Dolandırıcılık Suçu
殺人罪	Cinayet Suçu; Adam Öldürme Suçu
殺人予備罪	Cinayete Hazırlık Suçu
私印偽造罪	Özel Mühürlerin Sahtesini Yapma Suçu
私印不正使用罪	Özel Mühürlerin Usulsüz Kullanım Suçu
死体遺棄罪	Cesedi Terk Etme Suçu
重過失傷害罪	Ağır İhmal ile Bedenî Zarara Sebebiyet Suçu
重過失致死罪	Ağır İhmal ile Ölümre Sebebiyet Suçu
住居侵入罪	Haneye Tecavüz Suçu
銃砲刀剣類所持等取締法違反	Ateşli Silâhlar ve Bıçaklar Bulundurma Kontrol Kanunu İhlali
傷害罪	Bedenî Zarara Sebebiyet Suçu
傷害致死罪	Ölümle Sonuçlanan Bedeni Zarar Suçu
常習賭博罪	Kumar Bağımlılığı Suçu
常習累犯窃盜罪	Bağımlılıktan Tekerrür Eden Hırsızlık Suçu
証人威迫罪	Tanık vs.yi Tehdit Suçu
証拠隠滅罪	Kanıtları Gizleme veya Yok Etme Suçu
窃盜罪	Hırsızlık Suçu

贈賄罪	Rüşvet Verme Suçu; Rüşvet Teklif Etme Suçu
[た行]	[た行]
逮捕監禁罪	Kanunsuz Alıkoyma Hapis Suçu
逮捕監禁致死傷罪	Ölümle Sonuçlanan Kanunsuz Alıkoyma Hapis Suçu
単純逃走罪	Basit Kaçış Suçu
通貨偽造罪	Paranın Sahtesini Yapma Suçu
盜品等無償譲受け罪	Çalıntı Eşya vs.yi Bedelsiz Devralma Suçu
盜品等有償譲受け罪	Çalıntı Eşya vs.yi Bedelli Devralma Suçu
道路交通法違反	Karayolları ve Trafik Kanunu İhlali
毒物及び劇物取締法違反	Zehirli ve Tehlikeli Maddeler Kontrol Kanunu İhlali
賭博場開帳罪	Kumarhane Açıp Oynatma Suçu
賭博罪	Kumar Suçu
[は行]	[は行]
背任罪	Güveni Suiistimal Suçu
犯人藏匿罪	Suçluya Yataklık Etme Suçu
非現住建造物等放火罪	İkamet Edilmeyen Bina/Yapı vs.yi Kundaklama Suçu
壳春防止法違反	Fuhuş Önleme Kanunlarının İhlali
放火罪	Kundakçılık Suçu
暴行罪	Şiddet Suçu; Saldırı Suçu
暴力行為等处罚ニ関スル法律違反	Şiddet Fiilleri vs.yi Cezalandırma ile İlgili Yasa İhlali
保護責任者遺棄罪	Kanunî Sorumlusu Tarafından Yapılan Terk Suçu
保護責任者遺棄致死傷罪	Ölümle Sonuçlanan Kanunî Sorumlusu Tarafından Yapılan Terk Suçu
[ま行]	[ま行]
麻薬及び向精神薬取締法違反	Uyuşturucu Maddeler ve Ruhsal Duruma Etki Eden Eczaların Kontrol Kanunu İhlali
身の代金目的拐取罪	Fidye Talep Etmek Amacıyla Kaçırma Suçu
身の代金目的拐取帮助罪	Fidye Talep Etmek Amacıyla Kaçırma Yardım Suçu
身の代金目的拐取予備罪	Fidye Talep Etmek Amacıyla Kaçırma Hazırlık Suçu
身の代金目的被拐取者收受罪	Fidye Talep Etmek Amacıyla Kaçırılmış Kişiye Teslim Alma Suçu
無印公文書偽造罪	Mühürsüz Resmi Evrakin Sahtesini Yapma Suçu

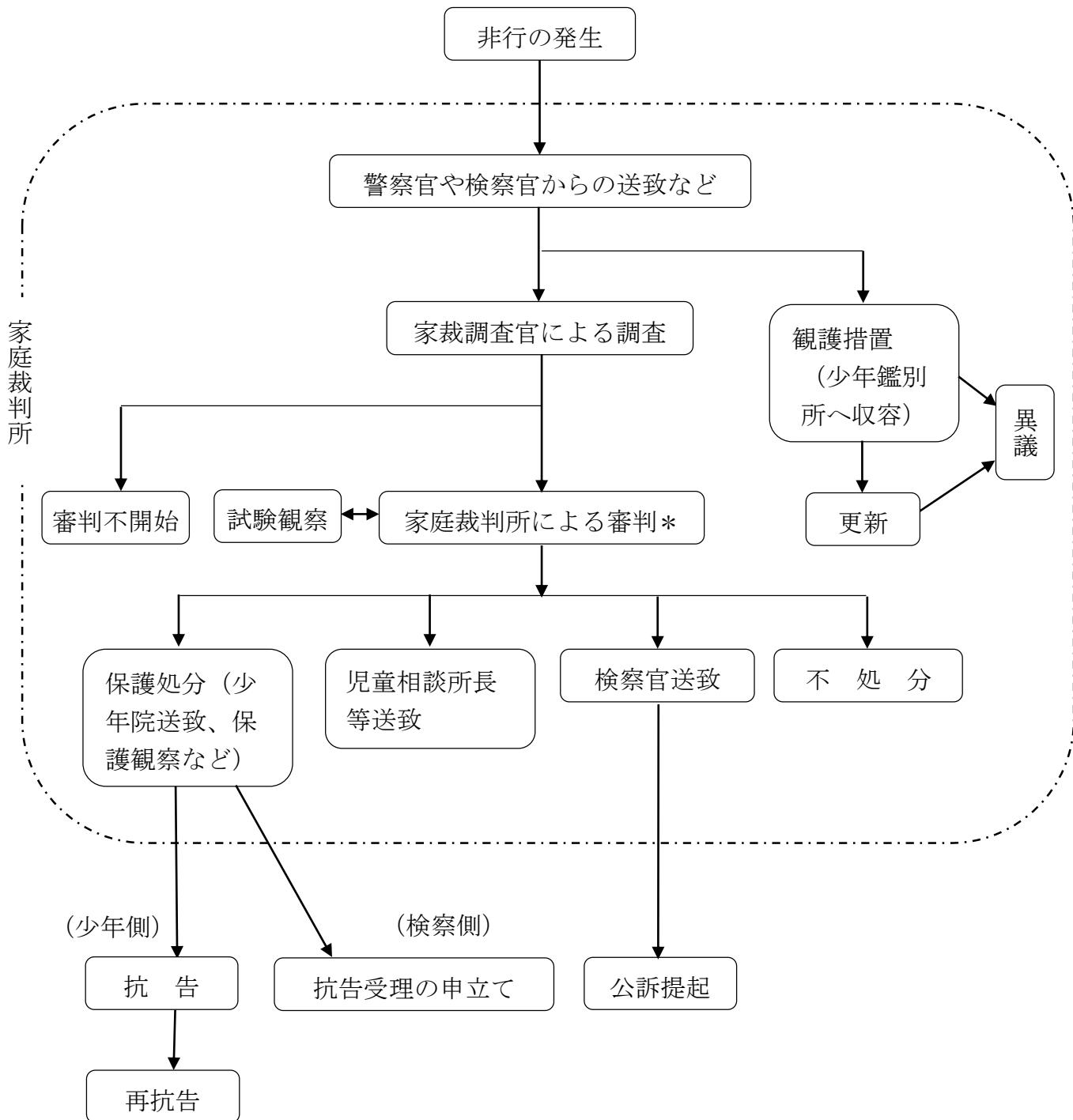
無印私文書偽造罪
名譽毀損罪

Mühürsüz Özel Evrakin Sahtesini Yapma Suçu
Tahkir Suçu; Onuru Zedeleme Suçu

[や行]
有印公文書偽造罪
有印私文書偽造罪
有価証券偽造罪

[や行]
Mühürlü Resmi Evrakin Sahtesini Yapma Suçu
Mühürlü Özel Evrakin Sahtesini Yapma Suçu
Değerli Evrakin Sahtesini Yapma Suçu

少年保護事件の手続の流れ



* 複雑困難な重大事件などでは、①3人の裁判官が審判したり、②検察官が立ち会うことがあります。